

特定非営利活動法人
パーソナルサービスセンタートムトム
平成27年度
事業報告(案)

法人

1、基本理念

ハンディのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、重点課題

1. 指定特定相談支援・指定障害児相談支援の事業を新たに実施する
2. 茅ヶ崎市内に新たに拠点を設け、放課後等デイサービス事業(あいあいクラブ)との多機能型として生活介護事業を実施する
3. 平塚市内に日中一時支援事業を行う拠点を新たに設ける
4. 法改正に伴う関係機関との連携と、より円滑な事業体制を目指す
5. 学校卒業後の生活支援に関する事業の検討
6. 特定非営利活動法人を解散し、社会福祉法人格等の検討

3、会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	平成27年5月29日	平成26年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	平成27年6月5日	①平成26年度事業報告(案) ②平成26年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③規程改定(案)
総会	定時	平成27年6月13日	①平成26年度事業報告(案) ②平成26年度決算報告(案) ③監事監査報告 ④平成27年度事業計画(案) ⑤平成27年度予算(案) ⑥定款改定(案)
理事会	第2回	平成27年11月30日	①平成27年度上半期事業報告(案) ②平成27年度上半期決算報告(案) ③平成27年度補正予算(案) ④規程改定(案)
理事会	第3回	平成28年3月28日	①平成28年度事業計画(案) ②平成28年度予算(案)

4、会員

会員名	平成27年度
正会員	57名
賛助会員	76件

5、事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名		サービス提供地域	
本部		西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)			
トムトム相談室		南原		計画相談支援,障害児相談支援		茅ヶ崎市 平塚市	
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園	多機能型	放課後等デイサービス		茅ヶ崎市 寒川町	
	からんころん			生活介護			
	ゴロゴロクラブ	赤羽根		放課後等デイサービス 茅ヶ崎市日中一時支援			
	ケアホームとむ郎	香川		共同生活援助			
平塚支部	えぼっくハウス	南原	障害福祉サービス	多機能型	生活介護		平塚市 二宮町 大磯町
	黄色の家	中原			就労移行支援		
	アンヌ	城所					
	グリーン工房1階	西真土					
	キャロット工房						
	青果ことぶき	寒川		平塚市日中一時支援			
	えぼハウ	御殿		放課後等デイサービス			
	ゆうゆうクラブ			居宅介護,重度訪問介護,移動支援			
	飯塚マンション	南原		自由契約		個別支援(パーソナル)	
ぶんぶん							

6、施設管理業務

(1) 建物の状況及び設備の修繕等

No	所在地	床面積	事業所	修繕内容
1	平塚市南原2-4-5 マイズビル1階	206.25 m ²	本部(～H27年8月) ぶんぶん	5月エアコン洗浄工事 5月シャッター工事
2	平塚市南原2-4-5 マイズビル403号室	41.2 m ²	えぼっくハウス	10月IHコンロ修理 2月トイレ修理
3	茅ヶ崎市萩園1602	53.6 m ²	あいあいクラブ (～H27年6月)	3月畳改修工事
4	茅ヶ崎市赤羽根2165-2	120.89 m ²	ゴロゴロクラブ	
5	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.63 m ²	ケアホームとむ郎	
6	平塚市中原2-6-63	92.5 m ²	黄色の家	5月ガラス修理 1月ガラス修理
7	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房	
8	平塚市西真土1-7-56	130 m ²	1階/グリーン工房 2階/グリーン工房 (本部/H27年8月～)	12月トイレ便座取付工事
9	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンヌ	11月洗面栓修理
10	高座郡寒川町一之宮1-9-15	49.5 m ²	青果ことぶき	4月ショーケース移設工事 6月冷蔵庫ドア交換
11	平塚市御殿1-7-6	99.19 m ²	ゆうゆうクラブ	

No	所在地	床面積	事業所	修繕内容
12	平塚市御殿3-18-2	40.6 m ²	飯塚マンション	
13	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.74 m ²	1階/あいあいクラブ 2階/からんころん (H27年7月～)	7月セコム設置工事 8月エアコン設置工事 8月底工事 2月トイレ修理
14	茅ヶ崎市萩園2336-3	50 m ²	からんころん (H27年4月～6月)	
15	平塚市御殿1-33-21	59.25 m ²	えぼハウ	2月トイレ詰まり修理

(2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市松林3-821	4 台	11	平塚市南原2-3-10	1 台
2	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	12	平塚市南原2-8-14	7 台
3	茅ヶ崎市萩園2336-2	8 台	13	平塚市南原2-8-15	3 台
4	高座郡寒川町一之宮1-9-15	1 台	14	平塚市南原2-4-7	5 台
5	平塚市御殿1-7-6	4 台	15	平塚市南原2-4-9	3 台
6	平塚市御殿1-23-3	2 台	16	平塚市西真土1-7-63	3 台
7	平塚市御殿1-1111-4	3 台	17	平塚市西真土1-1512-1	2 台
8	平塚市御殿1-22-31	2 台	18	平塚市御殿1-112-3	8 台
9	平塚市南原2-187-1	1 台	19	平塚市西真土1-1528-1	2 台
10	平塚市南原2-4-29	1 台	20	平塚市西真土1-1521-1	2 台
合 計					65 台

(3) 法人所有車両及び修繕等

事業所	車両	原付自転車	車検・修繕内容
本部	1 台	0 台	
あいあいクラブ	3 台	0 台	9月オイル交換: マツダデミオ 9月オイル交換: ステップワゴン(20号,21号)
ゴロゴロクラブ	3 台	0 台	6月車検: トヨタ Ipsum 7月6ヶ月点検: ホンダ ステップワゴン 8月ブレーキランプ交換: トヨタ Ipsum 9月サイドバンパー交換: ホンダ ステップワゴン
とむ郎	1 台	0 台	9月購入: 日産セレナ 3月バッテリー交換: 日産セレナ
えぼつくハウス	12 台	1 台	4月車検: トヨタタウンエースノア 4月タイヤ交換: 日産セレナ 5月リアワイパー交換: 日産セレナ 7月ガラス補強: トヨタタウンエースノア 7月車検: 日産セレナ 7月ファンモーターの改修: 日産キャラバン 8月キー電池・バッテリー交換: 日産セレナ 8月ブレーキランプ交換: シボレー 1月車検: 日産キャラバン 3月車検: 日産キャラバン 2月助成車両: ホンダ ステップワゴン
ぶんぶん	1 台	0 台	

事業所	車両	原付自転車	車検・修繕内容
ゆうゆうクラブ	3台	0台	6月車検:トヨタハイエース 6月タイヤ交換:トヨタハイエース 9月6ヶ月点検:ホンダステップワゴン 9月オイル交換:ダイハツハイゼットスローパー 9月6ヶ月点検:ホンダステップワゴン 9月オイル交換:ホンダステップワゴン 10月オイル交換・パンク修理:トヨタハイエース 11月バッテリー交換:トヨタハイエース 2月オイル交換:ホンダステップワゴン 3月車検:ダイハツハイゼットスローパー
からんころん	1台	0台	5月ワイパー交換:トヨタタウンエースノア 7月タイヤ交換:トヨタタウンエースノア 7月車検:トヨタタウンエースノア 10月バッテリー交換:トヨタタウンエースノア 11月タイヤ交換:トヨタタウンエースノア 3月オイル交換:トヨタタウンエースノア
トムトム相談室	1台	0台	8月購入:ホンダキャパ
合計	26台	1台	

(4) 什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	プリンター	2台
2	パソコン機器	28台
3		
4		
5		

No	リース契約	台数
1	コピー機	5台
2	beactive	1台
3	リソグラフ	1台
4	オフィス電話	14台
5	はちろう・まぜろう	各1台

(5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OBC 給与奉行 給与ソフト
2	会計	応研 福祉大臣 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者自立支援法対応 介護派遣コーディネイトシステム
4	介護請求	地域生活支援事業システム
5	介護請求	利用者向け請求システム
6	介護請求	障害者自立支援法請求システム
7	介護請求	Missヘルパー総合支援介護給付費請求システム
8	介護請求	Missヘルパー相談支援管理システム
9	グループウェア(*)	サイボウズOffice

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

7、職員体制(新規採用者含む)

※組織図別紙1参照

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	3	2	1	22		30
嘱託				2	3		5
非常勤					81	3	84
アルバイト					1		1
合計	2	3	2	3	107	3	120

8、職員研修

研修内容	開催日	参加者 (人数)	場所	主催・講師
初任者研修	4月1日	新人職員 7名	えぽっくハウス	加藤・鶴田
初任者研修	4月7日	新人職員 7名	えぽっくハウス	本間・鶴田
初任者研修	4月13日	新人職員 7名	えぽっくハウス	伊藤・露口
育児・介護と仕事を両立させるために (育児・介護休業等制度を知る)	4月15日	常勤・嘱託 34名	えぽっくハウス	お茶の水社労士事務所 社会保険労務士 山本 奈央氏
初任者研修	4月20日	新人職員 7名	えぽっくハウス	加藤・鶴田
支援に役立てていく性とそ の権利について	6月13日	常勤・嘱託 非常勤 81名	平塚市勤労市 民会館3F	性を語る会代表 北沢 杏子氏
連絡帳を介して行うご家族と のコミュニケーション	7月8日	常勤・嘱託 34名	えぽっくハウス	露口
平成27年度報酬改正とこれ からの障がい福祉	9月16日	常勤・嘱託 32名	えぽっくハウス	全国手をつなぐ育成会 連合会政策研究開発セ ンター委員 又村 あおい氏
現場に役立つ腰痛予防	9月28日	常勤・嘱託 非常勤 13名	茅ヶ崎市総合 体育館多目的 室	横浜療育センター 理学療法士 花井 丈夫氏
現場に役立つ腰痛予防	9月29日	常勤・嘱託 非常勤 21名	ひらつか市民 活動センター2 階	横浜療育センター 理学療法士 花井 丈夫氏
障がいのある子ども・青年た ちの性と生	10月14日	常勤・嘱託 33名	えぽっくハウス	永田三枝子氏 任海園子氏 日暮 かをる氏 (通称:旅芸人一座)
マイナンバー制度について	10月14日	常勤・嘱託 33名	えぽっくハウス	社会保険労務士 山本 奈央氏
現場実践での人権擁護	11月16日	常勤・嘱託 非常勤29 名	えぽっくハウス	社会福祉法人 翔の会 相談支援事業所 すまいる・とれいん 施設長 松永 徹氏
養護学校での現場について	11月18日	常勤・嘱託 33名	えぽっくハウス	県立藤沢養護学校教諭 倉谷 和子氏

10、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と一部の非常勤職員が対象)→11月～1月に実施済み
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成→2月給与で支給済み
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月に実施済み

11、役員数

理事5名, 監事2名

12、苦情件数

9月1件/2月1件/3月1件

13、総括

重点課題の実施結果

1. 平塚市南原2-4-5を拠点として、4月より指定特定相談支援・指定障害児相談支援の事業(トムトム相談室)を開始した。
2. 茅ヶ崎市に新たに4月より生活介護事業(からんころん)を開始した。
3. 茅ヶ崎市萩園に建設中だった事業所が6月末に完成し、1階は放課後等デイサービス(あいあいクラブ)、2階は生活介護(からんころん)の多機能型事業所として7月1日より開始した。
4. 平塚市の日中一時支援事業を行う事業所の拠点を平塚市御殿へ移した。
5. 相談支援事業を通し、法人内では解決できない問題は、他事業所と連携を取り合って調整したり、所轄担当課へ相談するなど、問題解決に努めた。
6. 事業所間の情報の共有化と連携体制を強化するために、各事業所の所属長を集めて毎月会議を行った。

課題

1. 効率的で経済的な労働方法への変換と職員の労働環境の向上を図るため、変形労働制を導入して2年目となるが依然、特定の職員にのみ労働が偏っており、残業時間が増加している。本年はこのことを重点課題として加え、今後も引き続き業務洗い出しを行い、業務分担の適正化と効率化を図りたい。

IT委員会

1、目的

法人規模が拡大したことにより、法人の管理体制の見直しが急務となっている。具体的には毎年、多大な手間と時間のかかる予算組及び会計実績の作成作業が特定の管理職員一人しか理解できてない状況となっており、重大な問題となっている。また、経理、請求システム、予算管理、経営分析、保管書類の保管場所問題改善のため電子化ファイリングの実現など、これら問題を解決すべく、IT委員会を立ち上げ、法人全体の管理統制システムの強化を狙う。ITシステムを上手に活用して、以下の業務効率化に取り組む。今年度は特に以下の部分に取り組む。

2、内容

1. 職員達の個人情報保護管理意識向上とハード面の管理を整える
2. 請求システムの調査と検討
3. 各支部のIT環境の見直しと管理体制の構築
4. 各支部にある電子データを本部一括データ管理、連携、共有の検討

月	内容
4月	今年度の取り組み他
5月	4月利用分制度請求の状況確認と原因の分析
6月	近年の制度の変化と流れ
7月	新請求システム(マウントシステム)
8月	開催なし
9月	マウントでの制度請求結果と今後の課題他
10月	マウントでの請求マニュアルの意見交換・修正etc
11月	実地指導後の過誤請求 他 ネットワーク環境・サイボウズの運用
12月	IT機器周辺パトロールの内容
1月	年間スケジュール・PC環境調査からの懸案事項・PCスキルの個人差など
2月	請求について報告・PCの配置検討・サイボウズ活用検討・各事業所のデータ管理・DocuWorks
3月	次年度活動内容・DocuWorks説明会

3、総括

単価改定での請求トラブルからシステムの変更に至ったことや、県による実地指導なども重なり、請求に関わる業務について全体的に変革の年となった。実地指導が入り、請求や活動などにおける見直しをすすめると同時に、かねてから課題であった各事業所におけるデータ管理やIT機器の運用について現状を意識する場面が増えることになった。それにより事業所ごとのデータ管理の方法や個々の意識・知識についても差が見られ、結果としてIT機器やソフトなどと同時に運用する「人」の知識向上のために研修などが取り組むべき課題として見えてくることになった。全体として請求事務に関わる環境・運用・人材・教育面での効率化をすすめるための洗い出しがはじまり、次年度以降へ向けて設備・環境・スキルの向上を進めていくための方向性を模索した一年となった。

安全委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険又は健康障害を防止するための基本となるべき対策(労働災害の原因及び再発防止対策等)などの重要事項について十分な調査審議を行う。

2、内容

1. 安全に関する規程の作成
2. 安全に関する計画の作成・実施・評価及び改善に関すること
3. 安全教育の実施計画の作成

月	内容
4月	ひやりはっと・事故報告まとめ
5月	1年間を振り返って・来年度に向けて
6月	安全部門と衛生部門の2つに業務分担を行う
7月	安全委員が担当する業務内容の確認と担当割り振りを行う
8月	開催なし
9月	腰痛予防研修、安全運転講習、避難訓練内容
10月	研修などの振り返り、今後の実施企画
11月	火災を想定した通報訓練、防災備蓄品チェックリスト
12月	防災備蓄品チェックリストの見直し
1月	避難訓練報告書、ひやりはっと・事故報告分析書式
2月	年間計画、ひやりはっと・事故報告分析書式
3月	年間計画、ひやりはっと・事故報告分析書式

3、実施内容

①安全運転講習の実施

各事業所の送迎業務従事者、新入職員を中心として教習所の安全運転プログラムを受講した。内容は、運転に関する適性検査と、実際に送迎で使用している車両を持ち込んで、教習所の場内コースを走行する実技講習。平塚、茅ヶ崎支部合わせて20名が参加した。

②地震を想定した避難訓練

各事業所毎に、震度6弱の地震を想定して避難訓練を実施した。地震発生から一時的に避難場所への避難と点呼を行ったのち、公的な一次避難場所(地域で指定されている学校等)へ、経路の安全性を確認しながら避難した。終了後、各事業所毎に反省点などの報告書を作成した。

③火災を想定した通報訓練の実施

各事業所毎に事業所内のエアコン付近から火災が発生したことを想定し、実際に119番通報を行う通報訓練と建物の外への避難訓練を実施した。終了後、各事業所毎に反省点などの報告書を作成した。

④防災備蓄品の確認と見直し

防災備蓄品のリストを作成し、在庫品の調査を実施した。利用者数、職員数に合わせて不足数の確認、消費期限・賞味期限の確認を行った。

4、総括

今年度は、実施日程に多少のずれはあったが、ほぼ計画通りに進めることが出来た。ただ、避難訓練の各事業所からの報告書に基づいて問題点や課題をまとめるのに時間を要してしまい、年度内に安全委員会から各事業所へ改善に向けての提案を発信することが出来なかったことが反省。今後も万が一の災害に備えて職員の防災意識を高められるよう取り組んでいきたい。

また、安全運転については、法人全体の事故削減に向けて研修を活用しドライバーの意識づけに焦点を当てていきたい。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会や衛生委員会において、労働者の危険又は健康障害を防止するための基本となるべき対策(労働災害の原因及び再発防止対策等)などの重要事項について十分な調査審議を行う。

2、内容

1. 衛生に関する規程の作成・計画・実施・評価及び改善に関すること
2. 衛生委員会の実施計画の作成、定期健診健康診断等の結果に対する対策の樹立に関すること、労働者の健康障害の防止を図る為の対策樹立
3. 精神的健康の保持増進を図るための対策樹立

月	内容
4月	ひやりはっと・事故報告まとめ
5月	1年間を振り返って・来年度に向けて
6月	・安全衛生についての説明と取り組みについて ・安全委員と衛生委員の業務の役割
7月	・応急手当講習について ・腰痛対策について
9月	・8月の夏季期間食品衛生管理について各事業所反省と意見、今後の対策について ・11月の安全衛生パトロールについて
10月	腰痛研修を受けて衛生委員会で作れること、安全衛生パトロール
11月	安全衛生パトロールメンバー構成、チェックリストの内容確認、生活介護事業所用インフルエンザ感染時の対応の確認
12月	安全衛生パトロール実施について、健康診断で衛生委員会ですること、生活介護事業所用インフルエンザ感染時対応の案内文書作成、次年度年間スケジュールの確認
1月	避難訓練報告、ひやりはっと・事故報告書式、来年度活動計画
2月	安全パトロール結果、ひやりはっと・事故報告書式、来年度活動計画
3月	ひやりはっと・事故報告書式、メンタルヘルス、来年度活動計画

3、実施内容

- ① 応急手当講習の実施
- ② 腰痛体操実施の呼びかけ
- ③ インフルエンザ感染時の対応基準(日中活動系、放課後系)と職員出勤基準マニュアル作成と実施
- ④ 感染症の最新情報の提供
- ⑤ 安全衛生パトロールの実施
- ⑥ 食品衛生管理の調査
- ⑦ ひやりはっと・事故報告まとめ(安全委員と合同)
- ⑧ 年間計画の作成(安全委員と合同)

4、総括

- ①応急手当講習を実施し、緊急時の対策として職員誰もが対応出来るよう講習を行った。
- ②腰痛予防研修は茅ヶ崎と平塚で2回に分けて開催した。理学療法士を講師に招き、介護技術や予防策を学び、実に有用な内容であったが、実技の時間が足りなかったとの意見もあった。
- ③夏季期間における食品衛生管理では、事前に各拠点の取り組みを聞き食中毒の注意を促し各拠点で対策を行っている事が確認出来た。
- ④インフルエンザ感染時等において法人内で統一した対応が出来るよう、対応基準を作成して周知した。またインフルエンザ情報をメールで配信することで現状把握、情報共有ができた。
- ⑤毎年行っている安全衛生パトロールを実施した。委員それぞれが所属外の事業所を巡回することで、客観的視点で安全への配慮を調査することが出来た。改善が必要な問題点等をまとめた報告書を各事業所へ配布する予定。
- ⑥今年度は年間計画に沿った取り組みが出来たので、この流れを来年度に繋げていきたい。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、内容

1. 広報誌の発行 年3回
2. 法人パンフレットの発行
3. ホームページの運用と内容の見直し

月	内容
4月	トムトム通信36号感想・反省 トムトム通信37号内容
5月	トムトム通信37号内容 分担役割
6月	広報委員会の年間予定 トムトム通信37号内容の打ち合わせとスケジュール確認 トムトム通信38号企画
7月	トムトム通信37号最終調整 トムトム通信38号企画
9月	トムトム通信38号企画 トムトム通信39号企画
10月	トムトム通信38号企画 トムトム通信39号企画
11月	トムトム通信38号企画 トムトム通信39号企画
12月	トムトム通信38号反省 トムトム通信39号について
1月	トムトム通信39号について
2月	トムトム通信39号について トムトム通信40号について
3月	トムトム通信40号について

3、総括

今年度も遅滞なく、計画通りに広報の発行を行うことができた。また、委員会のメンバーが通常業務をこなしながら、大変であったが協力して連携し合うことができた。

広報誌の封筒のセット作業の部分で、(1回につき、約500通を発行)のところを、今年はいぼつくハウスの利用者とともに作業として活動に取り入れてもらった。このことで、本部事務員だけに過度な負担がかかることもなく、仕事分担することができた。

広報誌では、全般的にインパクトがあって内容の濃い広報誌にすることを目的に作成した。委員会では、毎回発行後には良かった点、反省点を話し合い、次に掲載する内容について、意見交換し、各事業所の職員からも、様々な意見を出してもらいながら、次の広報ではより良い内容となるようにと、励んだ1年であった。

研修・人権擁護委員会

1、目的

(1) 研修

法人内外の研修を通じて、職員を育成し、モチベーションを上げ、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていく為のサポートを行っていく。

(2) 人権擁護

平成24年10月に障害者虐待防止法が施行された現在、障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みを改めて考え、障がいのある人がそのひとらしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、内容

(1) 研修

神奈川県施策の一つである「小規模事業所連携事業」などを活用し、多岐にわたる内容を研修に盛り込んでいきたい。例えば、施設における安全衛生、防火関係、職場内のコミュニケーション、労働法令について、メンタルケア、腰痛対策などを考えている。職員が無理のない範囲で、月に1回は何らかの研修機会を設けたい。

(2) 人権擁護

- ①障害者虐待防止法と権利擁護の講習会の企画、実施
- ②各職場における人権チェックシートの実施
- ③福祉支援現場における虐待のない職場作りを構築するための講習会等の企画、実施

月	内容
5月	6月全体研修の打ち合わせ
6月	平成26年度研修内容の振り返り 平成27年度研修内容の検討と担当分け
9月	研修予定の確認、内容等の検討
10月	実施した研修の振り返り
11月	今後の予定の確認
12月	3月法人全体研修講師のえぼつくハウス見学受入
1月	3月常勤会議内研修講師の見学、打ち合わせ
1月	実施した研修の反省、振り返り 今後の研修の進捗状況の確認
2月	
3月	

3、総括

- ①現場の声を研修に生かし、性教育やてんかん・防犯・口腔ケア等、支援に活かせる様々な視点からの研修を企画・実施してきた。
- ②委員会メンバーが積極的に新しい講師の開拓に取り組む事ができた。
- ③今後は発達障がいや強度行動障がいについての研修や支援現場の写真を使用したのKYT(危険予知訓練)を提案していきたい。
- ④本年度も従来通り、現場での支援など日々の業務を行いながらの委員会活動となり、会議時間の確保が難しい状況もあった。

本部総務部 (8月11日まで 平塚市南原2-4-5 マインズビル1階)
(8月12日から 平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運營業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

- 労務業務 給与計算、人事情報管理、入退職手続、職員健診管理、求人依頼、雇用契約書管理など
管理業務 法人設備・IT機器の保守、修繕、契約書の管理、業務上取引先名簿の管理、印章の使用と管理、法人外文書の作成と管理、契約と固定資産管理など
庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続、行事・催事の手伝い、郵便物の管理、事務用品の購入と管理、減免申請、法人内メール便の実施、印刷物の発注、粗大ゴミ・秘密文書の廃棄処理、賃貸不動産業者との事務的処理、保険管理など
経理業務 入出金管理、伝票作成、帳簿記帳、未収金の入金確認、請求書の支払い業務、納税、資金繰り管理表作成、決算処理、予算集計・作成、補助金の申請など
管財業務 車両管理、リース管理、保険管理など
請求業務 未収金請求、障害福祉関係の請求業務など
本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請に係る業務など

3、職員体制

常勤職員6名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員3名)

非常勤職員1名

4、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催時期	主催者	出席者	内容
総務会議	毎月1回	総務部長	総務職員	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

(2) 外部会議・研修等

研修内容	開催日	参加者	場所	講師
事業所報酬単価改正による事業所説明会	4月8日	常勤1名	横浜市港南公会堂	神奈川県保健福祉局福祉部障害サービス課他
OBCマイナンバー対応「マイナンバー収集・保管サービス」による実演解説	6月19日	課長1名	横浜	株式会社オービックビジネスコンサルタント横浜営業所
マイナンバー取扱の実務	7月31日	課長1名	厚木商工会議所	株式会社富士ゼロックス

研修内容	開催日	参加者	場所	講師
障がい者とそのご家族のライフステージに応じた「お金」のことについて	10月27日	理事長1名	JAさがみ農業茅ヶ崎支店5階会議室	全日本手をつなぐ育成会 機関誌編集委員 又村あおい氏
年末調整等説明会	11月17日	課長1名 常勤1名	茅ヶ崎市民文化会館	藤沢税務署 茅ヶ崎市財務部市民税課
第4回施設長会 成年後見制度と意思決定支援	11月20日	総務部長1名 理事長1名	神奈川県社会福祉会館	弁護士 川島 志保氏
ストレスチェックセミナー	12月2日	課長1名	藤沢市労働会館	一般社団法人クオリティ・オブ・ライフ創造
税制改正・労働法改正対応セミナー	2月24日	課長1名	TKP横浜ビジネスセンター	株式会社オービックビジネスコンサルタント

5、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと56件/事故報告39件

6、苦情件数

2月1件/3月1件

7、重点課題

(1) 社会福祉法人化に向けて体制作りを行う

- ①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指す。
- ②顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。
- ③事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。
- ④昨年度導入した給与ソフトとの連動が可能な就業管理ソフトを導入し、多様化している職員の勤務形態に対応できる労務管理体制づくりを目指す。

(2) 職員のメンタルヘルスケア

職員が、職場や家族等の人間関係、業務内容等から生じるストレス等に対処できるようサポートの一環として、メンタルヘルスに係る相談機関の活用を継続して行う。

(3) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(4) 各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

(5) 広報誌・WEBサイト等を最大限に活用して法人のPR効果の向上に努める。

8、総括

1. 顧問社会保険労務士と連携して整備を進めてきた、特定個人情報に関する基本方針・取扱規程の策定、事務フロー手順書の作成等を行い、運用を開始した。
2. 給与規程の見直しを含む賃金制度の改善への取り組みとして、本部業務の洗い出しを行い、職員の評価基準の原案づくりを進めた。
3. 顧問会計事務所の協力のもと、中堅職員を中心に、論理的に考えて人に伝えたり行動してくれたための勉強会を兼ねた会議を継続して定期的で開催した。
4. 本部事務所を西真土へ移転し、本部単独で事務作業に集中できる環境になった。また、業務の洗い出しを行い、本部全体の業務内容が明確になったことで、事務の効率が上がった。
5. 本部でも年間変形労働時間制勤務を導入した結果、残業時間が大幅に削減される効果があった。

茅ヶ崎支部

1、内部会議

会議名	開催日	出席者	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	月1回	常勤・嘱託	各事業所の報告及び課題検討

2、外部会議・研修

会議名	開催日	出席者	目的・内容
放課後保障全国連絡会都道府県連絡会	4月12日	部長1名	意見交換・情報共有等
防火管理講習	5月11日 5月12日	常勤1名	甲種防火管理者取得
放課後ネットかながわ	5月13日	部長1名 常勤1名	研修企画・準備、情報交換等
日中一時支援事業所連絡会	5月20日	常勤1名	役員改選、退会事業所報告、会費変更、各事業所報告、年間計画
放課後保障全国連絡会総会	6月7日	部長1名	事業報告・事業計画
放課後ネットかながわ学習集会	6月21日	部長1名 常勤1名	研修・意見交換等
放課後ネットかながわ	7月6日	部長1名	意見交換・情報共有等
茅ヶ崎市日中一時懇談会	8月3日	部長1名	日中一時夕方利用の課題共有
放課後ネットかながわ	9月14日	部長1名 常勤1名	意見交換・情報共有等
日中一時支援事業所連絡会	9月16日	常勤1名	新規事業者連絡会加入(キッズおりーぶの木)紹介、送迎の課題、研修会ワーキンググループの決定
放課後ネットかながわ	9月28日	部長1名	意見交換・情報共有等
放課後ネットかながわ	10月19日	常勤1名	研修準備・意見交換等

会議名	開催日	出席者	目的・内容
日中一時支援事業所連絡会	10月20日	常勤1名	研修準備
放課後ネットかながわ総会	11月8日	部長1名 常勤1名	総会決議事項の説明・承認等
日中一時支援事業所連絡会	11月17日	常勤1名	市への陳情報告・研修会進捗送迎の課題
放課後保障全国連絡会都道府県連絡会	11月29日	部長1名	全国各代表との意見交換等
日中一時支援事業所連絡会	12月21日	常勤1名	2月の公開講座について
日中一時支援事業所連絡会	1月12日	常勤1名	2月の公開講座について
放課後ネットかながわ	1月27日	部長1名 常勤1名	研修企画・準備、情報交換等
全国障害者問題研究会冬の交流集会	1月31日	部長1名 常勤1名	グループワーク研修実施他
放課後ネットかながわ	2月15日	常勤1名	交流集会の報告
日中一時支援事業所連絡会	2月18日	常勤1名	2月の公開講座について
放課後保障全国連絡会都道府県連絡会	2月27日	部長1名	情報共有、意見交換等
放課後保障全国連絡会研修会	2月28日	部長1名	放課後等デイサービスの現状と課題
放課後ネットかながわ	3月7日	部長1名 常勤1名	研修企画、情報交換

ゴロゴロクラブ(茅ヶ崎市赤羽根2165-2)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。放課後等デイサービスは学校在籍者(中高生を中心に)を対象として、放課後・土曜日・学校の長期休暇期間中にあわせて、ご利用者の発達支援と当事者家族の就労支援、およびレスパイトを保障していくことを目的とする。

3、事業内容

(1) 主な流れ(放課後)

13:40~18:00 送迎、身辺介護、創作・音楽活動を含む自由遊び

18:00~19:00 翌日準備、連絡調整等の事務作業

(2) 主な流れ(長期休業および土曜日)

9:00~16:30 送迎、身辺介護、自由遊び、屋内遊び、散歩、ドライブ、イベント外出、おやつ作りなど

16:30~18:00 翌日準備、連絡調整等の事務作業

4、事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	25	23	25	25	20	23	
件数(件)	172	157	180	196	142	184	
平均件数(件)	6.9	6.8	7.2	7.8	7.1	8.0	
平均単価(円)	10,687	10,544	10,499	11,119	11,924	10,684	
障害福祉サービス収入(千円)	1,838	1,655	1,890	2,179	1,693	1,966	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	26	23	22	23	24	25	284
件数(件)	190	171	167	180	193	181	2,113
平均件数(件)	7.3	7.4	7.6	7.8	8.0	7.2	7.4
平均単価(円)	10,718	10,547	10,679	10,757	10,573	10,958	10,807
障害福祉サービス収入(千円)	2,037	1,804	1,783	1,936	2,041	1,983	22,805

5、利用者構成

(1) 定員:10名/登録者:20名(男性13名、女性7名)/新規登録者1名/登録抹消者0名

(2) 年齢構成

年齢	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	計
小学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
男性	0	0	1	0	0	0	1
女性	0	0	0	0	0	1	1
計	0	0	1	0	0	1	2

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
男性	2	2	2	3	1	2	12
女性	0	1	0	1	1	3	6
計	2	3	2	4	2	5	18

(3) 障害程度

① 障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	12	0	0	2	0	14
女性	5	0	0	1	0	6
計	17	0	0	3	0	20

② 手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	5	6	6	3	20	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	1	2	0	0	1	1	5

6、職員体制

常勤職員1名、嘱託職員2名、非常勤職員14名、アルバイト1名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	2	
指導員(非)	10	
保育士(常)	0	
保育士(非)	4	
計	18	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ゴロゴロ会議	毎月1回 (8月を除く)	常勤 嘱託 非常勤	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討
個別支援検討会議	4月28日 5月28日 6月23日 9月17日 10月29日 1月21日	常勤 嘱託 非常勤	利用者ごとの支援方法についてなどを中心に課題を検討
リーダー会議	5月28日 7月3日 10月16日	常勤 嘱託 非常勤 リーダー	日々の業務、活動、利用者対応についての話し合い
業務内容聞き取り	4月17日 5月15日	常勤 嘱託	放課後等デイサービス標準化に向けた業務内容の聞き取り

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
放課後ネットかながわ事務局	6月15日	常勤1名	放課後ネットかながわ主催の研修会打ち合わせ他
茅ヶ崎養護学校プール利用説明会	7月10日	常勤1名	茅ヶ崎養護学校プール利用者向けの説明会
茅ヶ崎養護学校支援事業所連絡会	3月3日	嘱託1名	養護学校登下校時の駐車場の注意事項他

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
あいあいクラブ見学	6月6日	常勤1名	あいあいクラブ	あいあいクラブにて現場研修、新規利用者対応の確認
安全運転講習会	7月3日	常勤1名	三共自動車学校	安全運転の講習
新任職員人権研修	7月15日	常勤1名	神奈川県社会福祉館	初心者向けの人権擁護に関する研修
安全運転講習会	10月9日 10月24日	常勤1名 非常勤2名	三共自動車学校	運転業務に関わる実技等の受講

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
茅ヶ崎養護学校プール利用	7月29日	常勤 非常勤 利用者	茅ヶ崎養護学校のプールを借り、活動
茅ヶ崎養護学校プール利用	8月3日 8月5日 8月6日	常勤 嘱託 非常勤 ボランティア 利用者	茅ヶ崎養護学校のプールを借り、活動
夏休み外出	8月18日 8月19日 8月20日 8月25日 8月26日 8月27日 8月28日	常勤 嘱託 非常勤 利用者	寒川水道記念館、電車外出、辻堂海浜公園 平塚市博物館、ショッピングモールへの買い物及び昼食などの外出
スタンプラリー	8月17日 ～ 8月31日	常勤 嘱託 非常勤 利用者	創作やゲームなどの活動
茅ヶ崎支部座談会	10月7日	常勤2名 嘱託1名 保護者6名	今後に向けての意見交換等

行事名	開催日	出席者	内容
ちゃんぷる音楽祭	10月17日	常勤1名 非常勤3名 利用者5名	今後に向けての意見交換等
実地指導	10月21日	常勤2名 嘱託2名	放課後等デイサービス事業の実地指導
防災訓練	11月9日	職員9名 利用者7名	地震発生を想定し、近隣の寺までの徒歩避難実施
きらめき祭	11月28日	常勤1名 非常勤2名 利用者2名	茅ヶ崎養護学校主催の文化祭
利用者個別面談	11月10日 ～ 11月27日	保護者 常勤	個別支援計画を基に支援の検討等
利用者個別面談	12月1日 ～ 12月9日	保護者 常勤	個別支援計画を基に支援の検討等
消防署による事業所調査	12月18日	常勤	市内の障害者関係の施設の把握、確認の為茅ヶ崎消防署職員が来所
クリスマス会	12月24日 12月25日	常勤 非常勤10名 利用者10名	ケーキ、プレゼント等でクリスマスをお祝い
安全衛生パトロール	1月22日	常勤	安全衛生委員会による各拠点の設備の安全確認
節分豆まき	2月3日	嘱託2名 非常勤 利用者	季節の行事
防災訓練	2月17日	嘱託2名 非常勤 利用者	火災を想定した通報訓練及び避難訓練
茅ヶ崎養護学校高等部卒業式	3月10日	常勤1名	利用者卒業式に出席
茅ヶ崎養護学校小・中学部卒業式	3月17日	常勤1名	利用者卒業式に出席
卒業生を送る会	3月30日	常勤 嘱託 非常勤 利用者	卒業生と買い物、利用者全員で焼きそばパーティー

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと121件/事故報告19件

10、重点課題

1. 安定した事業運営のため、本来の計画的な定期利用を中心としていく。
2. 様々な年齢、障がいを持った方達を集団で支援する為の支援力の向上、活動内容の計画性と充実が求められている。
3. 新規の事業所が増えた事で、多様化していくニーズに応じていく体制づくりが必要となっている。

11、総括

1. 計画的な定期利用を中心としながら、職員配置等の工夫により不規則な利用に対しても柔軟に対応を行った。他事業所や相談支援事業所と連携しながら、利用者個々の状況に合わせたサービス調整も実施した。
2. 長期休暇期間中や休日の開所日を中心とし、外出の機会を多く設けてきた。室内活動においても季節の行事等を積極的に取り入れ充実を計った。事業所内の定例会議、個別支援検討会議内や職員研修の機会を有効に活用し、支援力の向上に努めた。
3. 本年度より限定的に帰り送迎を開始した。現場での支援を引き続き中心としながらも、継続して実施していけるよう、環境を整えていく。

ゴロゴロクラブ(茅ヶ崎市赤羽根2165-2)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。
日中一時支援事業は、成人の方を対象として、平日の日中活動終了後また土曜日の日中において、ご利用者の活動場所の確保と当事者家族の就労支援およびレスパイトを保障していくことを目的とする。

3、事業内容

(1) 主な流れ(平日:月～金)

13:40～18:30 送迎、身辺介護、自由遊び

18:30～19:00 翌日準備、連絡調整など

(2) 主な流れ(土曜日)

9:00～16:30 送迎、身辺介護、自由遊び

16:30～18:00 翌日準備、連絡調整など

4、事業実績目標(予算と連動)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	25	23	25	26	20	23	
件数(件)	130	125	138	142	108	124	
平均件数(件)	5.2	5.4	5.5	5.5	5.4	5.4	
平均単価(円)	5,193	5,253	5,045	5,122	5,192	5,114	
障害福祉サービス収入(千円)	675	657	696	727	561	634	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	26	23	22	23	24	25	285
件数(件)	138	117	116	122	126	128	1,514
平均件数(件)	5.3	5.1	5.3	5.3	5.3	5.1	5.3
平均単価(円)	5,148	5,168	5,041	5,157	5,094	4,984	5,126
障害福祉サービス収入(千円)	710	605	585	629	642	638	7,759

5、利用者構成

(1) 定員:6名/登録者:19名(男性10名、女性9名)/新規登録者0名/登録抹消者0名

(2) 年齢構成

年齢	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳以上	計
男性	4	1	1	1	0	3	10
女性	1	2	2	2	1	1	9
計	5	3	3	3	1	4	19

(3) 障害程度

① 障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	7	0	0	3	0	10
女性	2	0	0	7	0	9
計	9	0	0	10	0	19

② 手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	16	3	0	0	19	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	7	0	1	0	0	0	8

6、職員体制

常勤職員1名、嘱託職員2名、非常勤職員14名、アルバイト1名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	2	
指導員(非)	10	
保育士(常)	0	
保育士(非)	4	
計	18	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
日中一時打ち合わせ	6月17日	事業部長 総務部長 常勤1名 嘱託1名	ゴロゴロクラブ日中一時支援事業に関する打ち合わせ
日中一時打ち合わせ	3月8日	総務部長 常勤2名 嘱託2名 非常勤	ゴロゴロクラブ日中一時支援事業に関する打ち合わせ
日中一時説明会	3月24日	理事長 事業部長 総務部長 常勤1名 嘱託1名	茅ヶ崎市日中一時成人部門保護者の説明会、懇親会

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ケース会議	4月15日	嘱託1名	関係機関との情報共有、支援検討
ケース会議	5月11日	嘱託1名	関係機関との情報共有、支援検討
茅ヶ崎市日中一時事業所連絡会	5月20日	嘱託1名	日中一時事業所連絡会の定期会議
茅ヶ崎市日中一時事業所連絡会成人部会	6月25日	嘱託1名	情報共有、課題検討等
茅ヶ崎市日中一時事業所連絡会定例会	9月16日	嘱託1名	現状の課題と整理の検討
日中一時支援連絡会成人部門打ち合わせ	2月15日	部長1名 常勤1名	茅ヶ崎市社会福祉課と日中一時支援事業所との協議

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
通所先研修	6月12日	嘱託1名 非常勤1名	翔の会飛行船	併用利用者の昼食、支援の見学
日中一時支援連絡会研修	2月22日	非常勤3名	茅ヶ崎市コミュニティホール6F	「気になるこどもの接し方」ケースに応じたアプローチ

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
キラキラちゃんぷる音楽祭	10月17日	常勤1名 非常勤1名 利用者2名	茅ヶ崎養護学校主催の音楽会
日中一時支援利用者個別面談	6月	嘱託1名	サービス等利用計画を基に支援の検討等
日中一時支援利用者個別面談	2月8日 ～ 2月29日	常勤1名	サービス等利用計画を基に支援の検討等

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと64件/事故報告10件

10、重点課題

1. 利用定員に関しては今年度はほぼニーズ通りの受け入れを実施する事ができたが、今後は定員超過が見込まれており、多くの利用の調整が予想される。新規事業である生活介護事業との十分な連携を築き、受け入れ体制の強化を図っていきたい。
2. 活動や送迎等のニーズはかなり高まってきており、他事業所やご家族と協力しながら利用を受けて行く必要がある。
3. 依然として事業費設定の改善は見込まれず、厳しい環境の中での事業運営を続けている。関係機関と連携を取り状況の改善を行政に訴えつつも、スタッフ配置や支援方法について工夫をしながら事業を行う必要がある。

11、総括

1. 利用定員一杯の状態での運営が年間を通して続き、利用調整等も頻繁に行った。利用日の調整や緊急対応により、限られた定員数を最大限活用しながらの受入を実施した。
2. 他事業所やご家族の協力を仰ぎながら効率的に送迎体制を整えつつ、個々のニーズや状況に応じて必要な支援の配置を行った。
3. 市内の事業所連絡会や有志の保護者会が行政への働きかけを積極的に行った事で、成人の日中一時支援事業のニーズを地域に伝えることができ、状況改善に向けての制度改正も見込まれている。

あいあいクラブ (6月まで茅ヶ崎市萩園1602) (7月から茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定されている、放課後等デイサービス事業を実施する。茅ヶ崎市における学齢期(主に小学生)の障がいのある子ども達の放課後および長期休暇時の発達の支援および御家族の就労・レスパイトの一部を保障する。

3、事業内容

(1) 主な流れ(放課後)

14:00～18:00 送迎、身辺介護、自由遊び

18:00～19:00 送迎、翌日準備、連絡調整等の事務作業

(2) 主な流れ(長期休業および土曜日)

8:00～16:30 送迎、身辺介護、自由遊び、屋内遊び、散歩、ドライブなど

16:30～17:00 翌日準備、連絡調整等の事務作業

4、事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	25	23	25	26	20	23	
件数(件)	294	266	287	289	228	264	
平均件数(件)	11.8	11.6	11.5	11.1	11.4	11.5	
平均単価(円)	11,074	10,912	10,836	11,365	12,202	10,872	
障害福祉サービス収入(千円)	3,256	2,903	3,110	3,284	2,782	2,870	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	26	23	22	23	24	26	286
件数(件)	296	249	243	256	279	264	3,215
平均件数(件)	11.4	10.8	11.0	11.1	11.6	10.2	11.2
平均単価(円)	10,898	10,666	10,976	11,184	10,892	11,189	11,089
障害福祉サービス収入(千円)	3,226	2,656	2,667	2,863	3,039	2,954	35,610

5、利用者構成

(1) 定員:10名/登録者:34名(男性21名、女性13名)/新規登録者2名/登録抹消者2名

(2) 年齢構成

年齢	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	計
小学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
男性	2	3	1	4	3	4	17
女性	0	0	1	3	1	3	8
計	2	3	2	7	4	7	25

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
男性	1	1	1	1	0	0	4
女性	0	3	1	1	0	0	5
計	1	4	2	2	0	0	9

(3) 障害程度

① 障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	14	0	0	6	1	21
女性	11	0	0	1	1	13
計	25	0	0	7	2	34

② 手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	14	12	1	4	31	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	3	1	1	1	2	1	9

6、職員体制

常勤職員2名、嘱託職員1名、非常勤職員10名、アルバイト1名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	2	
指導員(非)	8	
保育士(常)	0	
保育士(非)	2	
運転担当職員(非)	1	
計	15	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
あいあい会議	毎月1回 (8月を除く)	常勤 嘱託 非常勤	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討
ケース会議	5月8日 6月12日 9月11日 11月6日 12月4日 1月15日 2月5日 3月4日	常勤 嘱託 非常勤	利用者ごとの支援方法について課題を検討
放課後等デイ利用調整、移行相談会議	10月29日	常勤3名	ご利用者の情報共有および事業所間の連携

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ユースボランティア茅ヶ崎	7月2日	常勤1名	夏休みのユースボランティア受入れに関する事前打ち合わせ
茅ヶ崎養護学校 プール利用説明会	7月10日	常勤1名	プールの利用に関する説明会
ユースボランティアオリエンテーション	7月17日 7月18日	常勤1名	ボランティア希望者との顔合わせ
ケア会議	8月19日	常勤1名	利用者の活動、支援の情報共有
茅ヶ崎養護学校事業所連絡会	3月3日	嘱託1名	送迎についての連絡

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
報酬改定事業所説明会	4月6日	常勤1名	横浜市磯子公会堂	障害福祉サービスに関わる報酬改定事業所説明会
子どものてんかん	6月14日	常勤1名	新横浜ラポール座	てんかんについて事例をみながら学ぶ
新任職員人権研修	6月24日	常勤1名	神奈川県社会福祉会館	あおぞらプランⅡの説明 施設利用者の権利擁護について
仕事に活かすカウンセリングの考え 方と技法	6月28日	常勤1名	港勤労福祉会館	傾聴について学ぶ
サービス管理責任者補足研修	7月30日 7月31日	常勤1名	川崎勤労会館	サービス管理責任者補足研修
応急手当講習会	7月8日	常勤1名 嘱託1名 非常勤	ゆうゆうクラブ	応急手当、AEDの使用法等についての講習会
腰痛予防研修	9月28日	常勤1名 嘱託2名 非常勤	茅ヶ崎市文化会館多目的室	腰痛予防のための支援アプローチを学ぶ
日中一時連絡会公開講座	2月22日	常勤2名 嘱託1名	茅ヶ崎市分庁舎6階	気になる子どもの接し方/無料公開講座

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
バーベキュー	4月1日	職員12名 利用者15名	里山公園にてバーベキュー
体育館利用	4月6日 4月8日	職員15名 利用者23名	茅ヶ崎市総合体育館の柔道場を利用
あいあいクラブ引越し	6月29日 6月30日	常勤2名 嘱託1名	あいあいクラブの引っ越し
あいあいクラブ開所式	7月4日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	新拠点の内覧会など
茅ヶ崎養護学校夏祭り	7月22日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	ゲーム、合奏、かき氷、景品(おやつ)など普段とは違った学校での楽しみを味わう
ユースボランティア受け入れ	7月27日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	ボランティア希望者の受け入れ(中学生1名)
茅ヶ崎総合体育館利用	7月27日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	総合体育館の柔道場で体を動かす
茅ヶ崎養護学校プール利用	7月29日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	茅ヶ崎養護学校のプール開放を利用
茅ヶ崎養護学校プール利用	8月3日 8月5日 8月6日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	茅ヶ崎養護学校のプール開放を利用
ユースボランティア受け入れ	8月8日 8月18日 8月24日 8月26日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	ボランティア希望者の受け入れ(中学生1名・大学生1名)
茅ヶ崎市総合体育館柔道場利用	8月4日 8月18日 8月19日 8月25日 8月26日 8月31日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	総合体育館の柔道場で体を動かす
利用者面談	毎月	常勤1名 嘱託1名	利用者保護者のと面談
茅ヶ崎支部放課後デイ利用者懇談会	10月7日	部長1名 常勤2名 嘱託1名	利用者保護者のと意見交換
支援級秋休み対応	10月9日 ～ 10月15日	部長1名 常勤2名 嘱託1名	支援級の早下校、一日開所の対応

行事名	開催日	出席者	内容
キラキラちゃんぷる音楽祭	10月17日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	茅ヶ崎養護学校での催しに参加
ハロウィンパーティー開催	10月30日 10月31日	常勤2名 嘱託1名	飾りと仮装でハロウィンを楽しむ
防災訓練	11月20日	常勤2名 嘱託1名	地域の避難場所への移動訓練
きらめき祭	11月27日 11月28日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	茅ヶ崎養護学校での催しに参加
クリスマスパーティー	12月24日 12月25日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	スタッフ仮装、クリスマス限定おやつ、サンタクロースが登場しプレゼントを配る。
つつじ学園新1年生向け事業所連絡会	1月26日	常勤1名	放課後サービスの事業所の案内
茅ヶ崎養護学校見学	1月27日	常勤1名	日中の養護学校を見学
茅ヶ崎養護学校見学	1月27日	常勤1名	日中の養護学校を見学
ボランティア受け入れ	2月18日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	ボランティアで活動参加/障がい児施設初体験(大学生1名)
防災訓練	2月19日	理事長 総務部長 常勤2名 嘱託1名 非常勤	火災を想定した避難訓練、通報訓練
茅ヶ崎養護学校高等部卒業式	3月10日	嘱託1名	卒業式参列
茅ヶ崎養護学校小中等部卒業式	3月17日	常勤1名	卒業式参列
ボランティア受け入れ	3月16日 3月26日 3月31日	常勤2名 嘱託1名 非常勤	ボランティアで活動参加/障がい児施設(大学生1名)

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと225件/事故報告54件

10、苦情件数

6月1件/3月1件

11、重点課題

1. 小学生の利用問い合わせ・利用希望が増えてきているので、中・高生の他事業所への移行を円滑に進めていく必要性があり、移行を毎年の流れとして作っていく。また帰り送迎については、茅ヶ崎支部で協力し合っていく必要がある。
2. 施設面の整備について検討されている中で、利用者の混乱を少しでも軽減しスムーズに移転などができるように事前準備を重ねていく。
3. 支援級が増えていることもあるため、他事業所や各学校と協力できるようにしていく。また、相談事業所とも連携を図る。

12、総括

あいあいクラブの利用者は小学生対象という観点から、利用者の進級・進学に伴う法人内の事業所間同士の移籍について、状況厳しく進まなかった。結果、移籍については待機状態が続いている。それと同時に新規利用の待機児童も発生しており、必要なサービスが利用できない状況となっている。

活動への影響は、小学1年生～高校1年生までの児童が同じ施設内で活動することが多く、場面によっては危険を伴うためスタッフへの負担が増えてしまった。また、年齢層も幅広くなり活動が一本化しづらくなっている。重ねて下校時間も分散してしまうため、おやつ提供後の自由遊びの場面において時間的制約が発生してしまった。

新施設への移転については、利用者・スタッフとの間で良好な関係性が保たれていることのあるらわれか思いのほか混乱も少なく、理想的な事業所移転ができた。

相談事業・他事業所との連携面では、過去の実績を踏まえ当事業所に対する信頼も厚く継続して良好な関係が保たれているが、その先の学校との協力関係による地域支援としての働きは次年度への課題である。

ケアホームとむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

この事業は、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、入浴、排泄または食事等の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。

3、事業内容

(1)1日の主な流れ(平日)

6:30～10:00 起床、身辺介護、食事介助、通所先送迎

10:00～15:00 掃除、洗濯、買い出し、食事準備、小口現金精算等の事務作業

15:00～21:00 通所先送迎、身辺介護、食事介助、風呂介助、余暇時間、就寝

(2)主な流れ(土日)

7:30～10:00 起床、身辺介護、食事介助

10:00～15:00 食事介助、ホーム内で自由に過ごす、もしくはヘルパーなどで外出

15:00～21:00 身辺介護、食事介助、風呂介助、余暇時間、就寝

4、事業実績

(1)茅ヶ崎市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	
件数(件)	85	86	105	113	96	102	
平均件数(件)	2.8	2.8	3.5	3.6	3.1	3.4	
平均単価(円)	9,034	8,921	8,424	8,581	8,602	8,582	
障害福祉サービス収入(千円)	768	767	885	970	826	875	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	31	30	29	28	29	31	361
件数(件)	106	101	100	94	102	110	1,200
平均件数(件)	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3
平均単価(円)	8,760	8,826	8,654	8,871	9,000	9,134	8,782
障害福祉サービス収入(千円)	929	891	865	834	918	1,005	10,533

(1) 寒川町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	
件数(件)	30	31	30	30	29	30	
平均件数(件)	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	
平均単価(円)	12,923	12,571	12,702	12,565	12,789	12,126	
障害福祉サービス収入(千円)	388	390	381	377	371	364	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	31	30	29	28	29	31	361
件数(件)	29	21	27	28	28	29	342
平均件数(件)	0.9	0.7	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9
平均単価(円)	12,578	13,092	12,742	12,996	12,391	12,455	12,661
障害福祉サービス収入(千円)	365	275	344	364	347	361	4,327

※家賃補助は含んでいません

5、利用者構成

(1) 定員:6名/登録者:5名(男性5名、女性0名)/新規登録者1名/登録抹消者1名

(2) 障害程度

①障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	3	0	0	2	0	5
女性	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	2	0	5

②手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	3	2	0	0	5	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	0	1	0	0	1	0	2

6、職員体制

常勤職員1名、非常勤職員9名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理責任者(常)	1	
生活支援員(常)	1	
生活支援員(非)	6	
世話人(常)	0	
世話人(非)	5	
計	14	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
とむ郎会議	毎月1回 (8月を除く)	理事長 総務部長 常勤1名 非常勤8	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討などを行う
とむ郎常勤会議	毎月1回 (7,8月を除く)	理事長 総務部長 常勤2名	課題業務など打ち合わせ
ケース会議	9月7日	理事長 常勤1名 非常勤4名	ケース数を限定して、情報共有・支援計画の状況確認および課題検討など
支援検討会議	11月9日	総務部長 常勤2名	個別支援計画について内容確認

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	6月9日	常勤1名	各ホームの現状と課題について
調整会議	7月24日	常勤1名	新規利用者の生活状況について
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	10月13日	常勤1名	各ホームの現状や課題、情報交換など
利用者担当者会議	11月17日	常勤1名	保護者、通所先担当職員、相談職員と利用者の様子について情報交換
利用者担当者会議	1月18日	常勤1名	とむ郎利用者の生活状況や支援について
サービス担当者会議	2月3日	常勤1名	利用者の計画作成にあたっての現状把握、情報共有、意見交換など
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	2月9日	常勤1名	各事業所の現状や課題 支援計画について

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
報酬改定事業所説明会	4月9日	常勤1名	横浜市鶴見公会堂	障害福祉サービスに関わる報酬改定事業所説明会
応急手当講習	7月8日	常勤1名	ゆうゆうクラブ	心肺蘇生法とAEDの使用方法

研修名	開催日	出席者	場所	内容
強度行動障害基礎講座	9月18日	常勤1名	中井やまゆり園	強度行動障害のある人の障がい特性とその理解、基本的な支援技術について
安全運転講習	10月1日 10月16日	常勤1名 非常勤3名	三共自動車学校	適性検査、場内運転
グループホーム向け研修	2月2日	常勤1名	茅ヶ崎市民文化会館	グループホームにおける意思決定について
強度行動障害養成研修	3月7日 3月8日	常勤3名	横浜市技能文化会館	強度行動障害基礎研修
防火管理者講習会	3月24日 3月25日	常勤1名	藤沢市民会館	甲種防火管理新規講習

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
個別面談	5月11日	総務部長 常勤1名	新規入居者のアセスメント
誕生日会	5月14日	職員4名 利用者5名	夕食後ケーキを提供し誕生日を祝う
誕生日会	7月10日	職員4名 利用者5名	夕食後ケーキを提供し誕生日を祝う
誕生日会	8月6日	職員4名 利用者5名	夕食後ケーキを提供し誕生日を祝う
個別面談	9月16日 9月18日 9月29日 9月30日 3月22日	常勤2名	個別支援計画について
実地指導	10月21日	常勤6名	グループホーム事業についての実地指導
保護者会	11月16日	常勤2名 保護者	近況報告、12月の予定について
防災訓練	11月19日	職員4名 利用者4名	地震を想定した避難訓練
誕生日会	11月24日	職員4名 利用者5名	夕食後ケーキを提供し誕生日を祝う
大掃除	12月12日	職員6名 保護者4名	ホームの大掃除および懇談会
クリスマス会	12月25日	職員4名 利用者5名	食事会を行う

行事名	開催日	出席者	内容
防災訓練	2月19日	職員4名 利用者4名	火災を想定した通報訓練および避難訓練
個別面談	3月9日 3月10日 3月11日 3月22日	常勤2名	個別支援計画について

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと75件/事故報告29件

10、苦情件数

10月1件

11、重点課題

1. 義務化となるスプリンクラー設備の設置
2. 6名の入居利用の実施

12、総括

1. 利用者の方々においては、体調面や精神面などで一時的に対応が必要なことも起きたが、長いスパンで崩れるようなこともなく、通所や定期的な帰宅も含めて安定して生活することができた。
2. 職員体制については概ねコンスタントな勤務を継続できた。多少の入れ替わりもあり、余裕のある状況ではないが全体的には偏った負担にならず勤務にあたることができた。
3. H26年度末で利用者が1名退居。それに前後して本年度より新たに1名を迎え入れた。ホームを開所し3年目で初めての変化だったが、新規入居者も含めて大きな問題なく順応して過ごすことができた。
4. H27年度より報酬単価の改正や加算要件の見直しがあったが、引き続き事業費面での運営状況は厳しい見込みである。
5. 消防関連の法律改正でスプリンクラーの設置等が義務付けられており、平成30年3月31日までが経過措置期間となっている。この設置工事には高額な費用が発生する為、現在は保留状態となっているが、平成29年度中までに実施しなければならない。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障がい者の排泄、食事等の介助や日中活動の充実を図り、日常生活、社会参加促進や生活能力向上に向けての訓練を行う。

3、事業内容

(1) 主な流れ(1日)

9:00～16:00 朝礼、体操、作業支援(紙ちぎり・はた織り・手芸品など)

お出かけ支援、買い物練習、余暇支援、食事支援(昼食・おやつ作り)

4、事業実績

(1) 茅ヶ崎市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	22	23	18	22	
件数(件)	66	57	66	69	54	65	
平均件数(件)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
平均単価(円)	11,184	10,848	10,839	10,834	10,847	10,911	
障害福祉サービス収入(千円)	738	618	715	748	586	709	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	255
件数(件)	71	65	63	63	67	67	773
平均件数(件)	3.1	3.0	3.2	3.2	3.2	2.9	3.0
平均単価(円)	10,576	10,530	10,662	10,667	10,795	10,576	10,772
障害福祉サービス収入(千円)	751	684	672	672	723	709	8,325

5、利用者構成

(1) 定員:10名/登録者:4名(男性4名、女性0名)/新規登録者1名/登録抹消者0名

(2) 年齢構成:18歳～22歳/平均年齢:19.5歳

(3) 障害程度

①障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	知的+精神	その他	計
男性	3	0	0	1	0	0	4
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	1	0	0	4

②手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	4	0	0	0	4	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	0	0	1	0	0	0	1

③男女、区分の内訳

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	2	1	1	4
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	2	1	1	4

6、職員体制

常勤職員2名、非常勤職員4名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	1	
生活支援員(常)	2	
生活支援員(非)	3	
事務員(非)	0	
看護師(非)	1	
運転担当職員(非)	1	
計	9	延べ人数

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
スタッフ会議	毎月1回 (1月は開催なし)	事業部長 総務部長 常勤2名 非常勤	日々の業務、支援の確認
保護者面談	5月12日	常勤 保護者	保護者面談を行う
次年度体制会議	3月25日	理事長 総務部長 常勤2名 嘱託1名 非常勤6名	次年度に向けての打ち合わせ

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ケース会議	12月11日	事業部長 総務部長 常勤1名	関係機関との情報共有、支援検討
新規利用者説明会	3月9日	総務部長 常勤1名 利用者家族	新規利用予定者の説明会を実施
日中一時事業所連絡会	3月17日 3月24日	常勤1名	新日中一時支援事業制度について

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
新任職員人権研修	6月24日	常勤1名	神奈川県社会福祉館	初心者向けの人権擁護についての研修
現場指導	1月12日	常勤2名 利用者3名	からんころん	発達障がい専門とする講師による支援指導
茅ヶ崎市事業所連絡会	1月16日	事業部長 常勤1名	茅ヶ崎市役所	事業所連絡会で法人、からんころん紹介
サービス提供管理責任者研修	1月26日 1月27日	常勤1名	ヴェルクよこすか	サービス提供管理責任者研修受講

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
誕生日会	7月13日 7月28日	常勤2名 非常勤1名 利用者3名	利用者の誕生日を手作りおやつで祝う
茅ヶ崎養護学校夏祭り	7月22日	常勤2名 非常勤1名 利用者4名	茅ヶ崎養護学校の夏祭りに参加
秋の慰労外出	10月28日	常勤2名 非常勤2名 利用者3名	横浜こども自然公園に外出
ハロウィン	10月30日	常勤2名 利用者3名	ハロウィンの装飾を行い、おやつ作りをする
防災訓練	11月12日	常勤2名 非常勤2名 利用者2名	地震を想定した避難訓練
クリスマス会	12月23日	常勤1名 非常勤 利用者3名	えぼっくハウスのクリスマス会に参加、クリスマスリース作りを行う

行事名	開催日	出席者	内容
プレゼント会	12月25日	常勤2名 非常勤 利用者4名	プレゼント、ケーキでクリスマスをお祝いする
成人の集い	1月11日	常勤2名 利用者3名	成人式を迎える利用者の方のお祝い、写真撮影など
誕生日会	1月13日 1月30日	常勤2名 利用者4名	誕生日の方の好みのおやつでお祝いする
節分	2月3日	常勤2名 利用者3名	豆まき、鬼退治を行う
バレンタイン	2月12日	常勤2名 利用者4名	チョコレートを使ったお菓子作り
防災訓練	2月15日	常勤2名 非常勤2名 利用者2名	火災を想定した通報、避難訓練
茅ヶ崎養護学校高等部卒業式	3月10日	常勤1名	卒業式参列
茅ヶ崎市成人部門説明会	3月24日	常勤1名	新年度の体制について

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと78件/事故報告33件

10、重点課題

1. 障がい種別に合わせて、作業スペースを確保していき、尚かつ利用者同士の交流の機会も多く設けて、日中の生活を充実させていく。
2. 職員のスキルアップを図り、事故の起こらない安全な環境を整えて支援していく。
3. 充足感を持てるよう楽しめる余暇支援を行い、年間を通して気持ちの安定を図っていく。

11、総括

1. 利用者の個別対応に合わせた作業スペースの確保と共に、一人一人の作業の内容や工程の充実に取り組んできた。集団での活動は適切な距離感や関係性を築いていけるよう、場所や時間の工夫により支援を行ってきた。
2. 法人内で企画実施した研修への参加は常勤職員を中心に積極的に行ってきた。日中活動の開所時間に伴い定例会議が夜間となってしまう為、非常勤職員の会議参加機会の確保が難しく、今後の課題としていきたい。
3. 作業や活動中の息抜き、気持ちの切り替えとして定期的に余暇支援を行ってきた。今後も利用者の楽しみ、励みに繋がるような余暇活動を行うと共に、利用者の興味関心の拡大や社会参加の機会の確保をしていく。

平塚支部

1、内部会議

会議名	主催者	出席者	目的・内容
なし			

2、外部会議・研修

会議名	開催日	出席者	目的・内容
県集団指導実施	6月22日	部長1名	事業への取り組み方の指導
湘南西地区施設長会	7月10日	部長1名	意見交換等
湘南西地区施設長会	9月30日	部長1名	情報共有、意見交換等
湘南東西地区合同施設長会	11月24日	部長1名	メンタルヘルス研修、意見交換等
厚生労働省との懇談	11月30日	部長1名 常勤1名	放課後等デイサービス担当者との意見交換
湘南西地区施設長会	1月28日	部長1名	情報交換等
湘南西地区施設長会	3月3日	部長1名	年度の反省、次年度の計画

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

居宅介護・重度訪問介護・平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

事業所開所(10時～19時)

- (1) 直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援など
- (2) 関連業務～相談、訪問、支援計画の作成、勤務調整、請求などに関する事務、連絡
- (3) 内部会議～月1回のヘルパー会議(常勤・非常勤)、ケース会議
- (4) 外部会議～行政等関係機関との会議、ケース会議

4、事業実績

(1) 居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	6	7	8	7	4	7	
時間(時間)	6	7	8	7	4	7	
平均単価(円)	5,399	5,399	5,398	5,399	5,398	5,399	
障害福祉サービス収入(千円)	32	38	43	38	22	38	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数(件)	8	7	7	8	6	7	82
時間(時間)	8	7	7	8	6	7	82
平均単価(円)	5,398	5,399	5,399	5,461	5,399	5,399	5,404
障害福祉サービス収入(千円)	43	38	38	44	32	38	444

(2) 重度訪問介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	13	14	17	14	8	7	
時間(時間)	45.5	42.5	51.5	43	22.5	18.5	
平均単価(円)	2,617	2,518	2,516	2,617	2,547	2,524	
障害福祉サービス収入(千円)	119	107	130	113	57	47	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数(件)	9	8	6	6	8	6	116
時間(時間)	23	21	16.5	16	23	19.5	343
平均単価(円)	2,550	2,491	2,560	2,757	2,700	2,831	2,602
障害福祉サービス収入(千円)	59	52	42	44	62	55	887

(3) 移動支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	79	79	61	83	69	71	
時間(時間)	153	187	141.5	159.5	143	172	
平均単価(円)	2,657	2,466	2,534	2,625	2,512	2,490	
障害福祉サービス収入(千円)	407	461	359	419	359	428	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数(件)	71	65	70	64	66	76	854
時間(時間)	175	132.5	151	133	129	144	1820.5
平均単価(円)	2,436	2,598	2,504	2,589	2,591	2,650	2,554
障害福祉サービス収入(千円)	426	344	378	344	334	382	4,641

(4) パーソナルサービス(自由契約)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	1	4	1	0	3	1	
時間(時間)	2.5	16	3	0	18.5	2.5	
平均単価(円)	2,500	2,500	2,500	0	2,500	2,500	
障害福祉サービス収入(千円)	6	40	8	0	46	6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数(件)	1	1	1	0	0	0	13
時間(時間)	3	2.5	8	0	0	0	56.0
平均単価(円)	2,500	2,500	2,500	0	0	0	1,667
障害福祉サービス収入(千円)	8	6	20	0	0	0	140

(5) パーソナルサービス(自由契約)早朝・夜間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	2	0	1	1	1	0	
時間(時間)	2	0	1	1	2	0	
平均単価(円)	2,800	0	2,800	2,800	2,800	0	
障害福祉サービス収入(千円)	6	0	3	3	6	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数(件)	0	0	0	0	0	2	7
時間(時間)	0	0	0	0	0	4	10
平均単価(円)	0	0	0	0	0	2,800	1,167
障害福祉サービス収入(千円)	0	0	0	0	0	11	29

5、利用者構成

定員:なし/登録者:57名(男性41名、女性16名)

6、職員体制

常勤職員 1名、嘱託職員 0名、非常勤職員 17名、アルバイト 0名

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ぶんぶん会議	毎月1回 第3火曜日 (8月を除く)	常勤 非常勤	報告、連絡、ケース会議

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ケース会議	2月19日	常勤 非常勤	ヘルパー事業所同士の意見交換、情報共有を行う

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
報酬改定事業所説明会	4月9日	常勤1名	横浜市鶴見公会堂	障害福祉サービスに関わる報酬改定事業所説明会
強度行動障害基礎講座	9月18日	常勤1名	中井やまゆり園	強度行動障害のある人の障がい特性とその理解、基本的な支援技術について
自閉症実践療育講座	2月4日	常勤1名	総合福祉センターエポックなかはら	「教え上手な支援者になる」をテーマにコミュニケーション方法や受け入れやすい支援などについて

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
平塚養護学校高等部卒業式	3月8日	常勤1名	卒業式に出席
湘南養護学校高等部卒業式	3月10日	常勤1名	卒業式に出席

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと40件/事故報告9件

10、重点課題

1. 男性ヘルパーが少人数の為、土日を含めた男性利用者の利用希望に応えきれていない部分が課題。利用者ニーズにもよるが、可能な範囲で女性ヘルパーも支援に加え、利用の幅を広げていく。また、土日のヘルパーの勤務可能日に空きがある場合は、ぶんぶん側からご利用の提案を行い、ご家族のレスパイトにも繋げていく。
2. 新たなヘルパーの確保は難しい状況。その為、現状のヘルパーで利用者の利用希望に応えられるよう、一人のヘルパーが固定の利用者ではなく、複数の利用者を担当できるよう同行支援の確保とミーティングを通して利用者の情報共有を行っていく。

11、総括

1. の重点課題に対し、土日の利用ニーズは確実に増えている状況である。その中で、ご利用者やご家族との支援場所やプラン内容、時間帯等の話し合いを通して、男性利用者の支援にも女性ヘルパーが加わったことにより、昨年に比べて利用希望に応えることができた(とくに土日)。

また、土日に関して勤務可能なヘルパーに空きがある場合、ぶんぶん側からのご利用の提案を行ったことにより、ヘルパーの労働時間を確保すると共にご家族の就労やレスパイトに繋げることができた。

ただ、土日の課題としては、新規利用者を受け入れることが困難な状況である。土日の勤務可能者が平日に比べて少数の為、現在土日勤務に入っていないヘルパーに加わって頂けるよう、利用の日時や内容を分析し、予め勤務時間を確保してもらえるよう努める。

2. の重点課題に対し、思ったように同行支援の時間を確保することができず、特定のヘルパーが同じ利用者の担当になっている状況である。その為、引き続き一人の職員がより多くの利用者を担当できるよう、職員研修やぶんぶん会議を通して、個々のヘルパーの支援中の過ごし方や関わり方などを共有し、支援の幅を広げていく。

また、特定のヘルパーが体力的にも精神的にも負担の掛かる支援が続くことのないよう、コーディネートを工夫していく。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

中高生を対象とした放課後、土曜日・長期休業における余暇支援とご家族の就労・レスパイトの保障を行っていく。

3、事業内容

(1) 主な流れ(放課後)

13:00~18:00 送迎、身辺介護、自由遊び

18:00~19:00 翌日準備、連絡調整等の事務作業

(2) 主な流れ(長期休暇および土曜日)

9:30~18:00 送迎、身辺介護、自由遊び、外出、散歩、おやつ作り、夏場はプール

18:00~19:00 翌日準備、連絡調整等の事務作業

4、事業実績

(1) 平塚市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	25	23	25	26	20	23	
件数(件)	354	361	365	406	339	358	
平均件数(件)	14.2	15.7	14.6	15.6	17.0	15.6	
平均単価(円)	7,379	7,370	7,369	7,498	7,715	7,393	
障害福祉サービス収入(千円)	2,612	2,661	2,690	3,044	2,615	2,647	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	26	23	22	23	24	25	285
件数(件)	371	357	342	371	375	381	4,522
平均件数(件)	14.3	15.5	15.6	16.1	15.6	15.2	15.4
平均単価(円)	7,394	7,404	7,440	7,428	7,384	7,506	7,440
障害福祉サービス収入(千円)	2,743	2,643	2,545	2,756	2,769	2,860	32,585

(4) 大磯町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	2	2	2	4	4	4	
件数(件)	2	2	2	4	4	4	
平均件数(件)	1	1	1	1	1	1	
平均単価(円)	7,195	7,403	7,195	7,299	7,403	7,195	
障害福祉サービス収入(千円)	14	15	14	29	30	29	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	5	3	3	2	2	4	37
件数(件)	5	3	3	2	2	4	37
平均件数(件)	1	1	1	1	1	1	1.0
平均単価(円)	7,236	7,610	7,405	7,403	7,403	7,195	7,329
障害福祉サービス収入(千円)	36	23	22	15	15	29	271

(5) 神奈川県サポート事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	25	23	25	26	20	23	
件数(件)	158	145	146	169	151	144	
平均件数(件)	6.3	6.3	5.8	6.5	7.6	6.3	
平均単価(円)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
障害福祉サービス収入(千円)	521	479	482	558	498	475	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	26	23	22	23	24	25	285
件数(件)	150	131	157	171	168	177	1,867
平均件数(件)	5.8	5.7	7.1	7.4	7.0	7.1	6.6
平均単価(円)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
障害福祉サービス収入(千円)	495	432	518	564	554	584	6,160

5、利用者構成

(1) 定員:20名/登録者:50名(男性34名、女性16名)/新規登録者10名/登録抹消者1名

(2) 年齢構成

年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
男性	4	6	3	8	7	6	34
女性	3	3	1	3	3	3	16
計	7	9	4	11	10	9	50

(3) 障害程度

① 障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	32	1	0	1	0	34
女性	10	1	0	5	0	16
計	42	2	0	6	0	50

② 手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	23	12	8	7	50	6	0	1	7
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	0	0	0	0	0	0	0

6、職員体制

常勤職員3名、嘱託職員1名、非常勤職員9名、アルバイト1名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	8	
指導員(非)	17	
保育士(常勤)	0	
保育士(非)	1	
運転担当職員(非)	1	
計	29	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
ゆうゆう会議	毎月1回 (8月を除く)	常勤 嘱託 非常勤	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討などを行う
ケース会議	6月1日	常勤2名	支援検討会議
ケース会議	11月21日	常勤 非常勤	連絡事項、情報共有

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
平塚養護学校プール説明会・放課後連絡会	6月30日	常勤2名	プール利用について/災害時帰宅訓練
学齢児サービス提供事業所情報交換会	11月17日	課長2名	事業所紹介、ご利用者受け入れ
家族会議	12月16日	事業部長 課長 常勤2名	活動報告、保護者からの意見
平塚養護学校放課後支援連絡会	3月2日	課長	教育支援計画、秦野養護学校設立
平塚市自立支援協議会子ども部会	3月29日	課長	支援計画、放課後等デイサービスガイドライン

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
認定調査研修	4月28日	常勤1名	神奈川県総合医療会館	認定調査について
安全運転管理者講習	6月10日	常勤1名	茅ヶ崎市民会館	安全運転管理者研修
応急手当講習	7月8日	常勤 嘱託 非常勤	ゆうゆうクラブ	心肺蘇生法・AEDの使用方法
安全運転講習	10月15日	常勤1名 非常勤	三共自動車学校	運転の講習
強度行動障害支援者研修	3月7日8日	課長	横浜市技能文化会館	自閉症支援について

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
ピクニック	5月2日	常勤 非常勤	お弁当を作り、公園へピクニック
平塚養護学校プール	7月24日 8月24日 8月27日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	プール遊び
湘南養護学校プール	7月27日 7月28日 7月30日 8月24日 8月27日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	プール遊び
県実地指導	10月20日	理事長 事業部長 総務部長 課長2名 常勤3名	放課後等デイサービス事業の指導
防災訓練	11月30日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	地震を想定した避難訓練
クリスマス会	12月24日 12月25日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	ケーキ作り、音楽活動、プレゼントゲーム
初詣	1月4日 1月5日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	昨年度の感謝と今年度も健康に過ごせるよう祈る
節分	2月3日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	豆まき
防災訓練	2月29日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	火災を想定した避難訓練、通報訓練
卒業生お別れ会	3月31日	常勤・嘱託 非常勤 利用者	花束贈呈、アルバム作成

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと102件/事故報告32件

10、苦情件数

10月1件

11、重点課題

1. 帰りの送迎を実施に伴い送迎コースが毎日変化する為、安全運転のマニュアルの実践と充実を図る。
2. 安全に過ごせる環境作り(転倒防止・服薬、薬品類の扱いや管理)
3. 個別支援計画の共有
4. 利用者に関する情報をより一層提供し、又ひやりはっとを十分に活用し大きな怪我や事故が起きないよう、安全性に心掛ける。
5. 4月以降のご利用状況を見て、10人規模のデイサービスに変更するか検討していく。

12、総括

1. 支援計画の共有化

- ①50名程の支援計画を作成するうえで、事前に現場に出ている非常勤スタッフに意見を聞き、作成することができた。今後はより支援計画の作成を目指していく。
- ②保護者との面談後は、必ず非常勤スタッフに報告を行ってきたが、非常勤スタッフの出勤の頻度によって情報共有に差が出てきてしまった。なるべく情報共有を密に行っていく工夫をしていくことが課題である。

2. 帰宅送迎の導入

以前から保護者の方々からの要望があり今年度から導入、大きな事故もなく年間通じて実施することができた。より安全な送迎を行っていくために、必ず添乗者を付けていきたい。

3. 学習活動の導入

専門スタッフを配置し、個別に学校の宿題を見てアドバイスをを行った。全体の活動としてはゲーム感覚で知識を得てもらえるよう取り組んだ。利用者の方々も関心をもって参加してもらい、好感触を得て一年間やり続けることができて良かった。今後は、より利用者の方々の学習レベルに応じた学習活動が実施していけるよう来年度も実施していく。

4. 支援体制について

今年度は限られた支援スタッフの中、マンツーマン体制でサービスを提供する利用者の方が多く、厳しい支援体制でサービスを提供してきた。危険なこともあったが、支援スタッフのスキルも十分に発揮できたように感じた。

5. 活動内容について

- ①日々の活動については学習活動の導入や音楽活動の継続により、一日の動きに安定感が出てきた。今後の課題としては、個々の利用者に合う過ごし方を追求していくことである。
- ②年間計画による活動については、季節に応じた行事を行ってきた。特に夏休み期間によるプール活動は毎年好評なので、来年度も実施していく。又行事の内容がマンネリ化しないよう工夫していく。

6. 今後の動向について

平塚市内では放課後等デイサービス事業を実施している事業所が20箇所以上あり、何人規模のサービスの提供を実施していくか、又受け入れ対象を中高生から変更するべきか、現場においては活動内容の充実が課題になっている。制度の動向も見ながら今後の事業体制についての検討が必要になっている。

えぽっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

生活介護(多機能型)

2、目的

障がい者の排泄、食事等の介助や日中活動の充実を図り、日常生活、社会参加促進や生活能力向上に向けての訓練を行う。

3、事業内容

(1)主な流れ(1日)

9:30～15:00 朝礼、体操、作業支援(はちろう・まぜろう・はた織り・手芸品、絵画造形など)
お出かけ支援、買い物練習、余暇支援、食事支援(昼食・おやつ作り)

4、事業実績

(1)平塚市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	22	23	18	22	
件数(件)	525	420	546	533	403	523	
平均件数(件)	24	22	25	23	22	24	
平均単価(円)	12,357	12,912	13,011	12,946	12,715	12,969	
障害福祉サービス収入(千円)	6,487	5,423	7,104	6,900	5,124	6,783	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	255
件数(件)	536	494	467	469	481	534	5,931
平均件数(件)	23	22	23	23	23	23	23.2
平均単価(円)	12,938	12,940	12,283	13,022	12,366	12,394	12,738
障害福祉サービス収入(千円)	6,935	6,393	5,736	6,108	5,948	6,619	75,560

(2)二宮町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	22	23	18	22	
件数(件)	19	19	22	23	18	26	
平均件数(件)	1	1	1	1	1	1.2	
平均単価(円)	13,324	12,829	12,871	12,830	12,752	12,172	
障害福祉サービス収入(千円)	253	244	283	295	230	316	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	255
件数(件)	28	26	20	20	21	23	265
平均件数(件)	1	1	1	1	1	1	0.9
平均単価(円)	11,799	10,780	12,866	12,915	11,667	12,306	12,426
障害福祉サービス収入(千円)	330	280	257	258	245	283	3,274

(3) 神奈川県サポート事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	22	23	18	22	
件数(件)	312	276	330	324	241	304	
平均件数(件)	14	15	15	14	13	14	
平均単価(円)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
障害福祉サービス収入(千円)	1,030	911	1,089	1,069	795	1,003	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	255
件数(件)	328	306	281	282	282	323	3,589
平均件数(件)	14	14	14	14	13	14	14.1
平均単価(円)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,288	3,300	3,299
障害福祉サービス収入(千円)	1,082	1,010	927	931	934	1,066	11,847

(4) 作業会計の状況

月	収入(円)	工賃総額(円)	平均工賃額(円)
4月	13,154	34,550	1,115
5月	200	29,820	994
6月	7,938	32,710	1,055
7月	34,370	31,310	1,010
8月	0	30,680	990
9月	2,000	32,250	1,008
10月	22,450	31,510	1,016
11月	26,190	30,620	988
12月	61,633	30,330	1,011
1月	30,200	31,660	1,019
2月	56,050	30,510	1,017
3月	32,500	31,130	1,038
合計	286,685	377,080	12,261
1人あたりの月平均工賃 1,022円			

5、利用者構成

(1) 定員:20名/登録者:32名(男性21名、女性11名)/新規登録者5名/登録抹消者0名

(2) 年齢構成:18歳~29歳/平均年齢:20歳

(3) 障害程度

①障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	知的+精神	その他	計
男性	12	0	0	9	0	0	21
女性	6	0	0	4	1	0	11
計	18	0	0	13	1	0	32

②手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	20	8	1	0	29	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	1	0	0	1

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	4	4	1	4	0	0	13

③男女、区分の内訳

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	3	9	9	21
女性	0	0	0	6	0	5	11
計	0	0	0	9	9	14	32

6、職員体制

常勤職員9名、嘱託職員1名、非常勤職員15名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理責任者(常)	1	
生活支援員(常)	9	
生活支援員(非)	14	
事務員(非)	0	
看護師(非)	2	
運転担当職員(非)	4	
計	31	延べ人数

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
えぼつく会議	毎月1回	えぼつく職員	行事、活動、業務の話し合い

(2)外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
サービス調整会議	8月24日	相談事業所ホットステーション 相談員 利用者家族 常勤1名	サービス等利用計画作成の為のモニタリング
サービス調整会議	8月26日	相談事業所ブブ相談員 常勤1名	利用者の聴き取り

(3)研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
強度行動障害について	7月13日	常勤1名	中井やまゆり園	強度行動障害者の対応について
サービス管理責任者初任者研修	7月30日 7月31日	常勤1名	サンピアン川崎	制度概要説明他

研修名	開催日	出席者	場所	内容
安全運転講習	10月8日 10月9日 10月13日 10月14日 10月15日	6名	三共自動車学校	適性検査・実技講習(教習所内)
サービス管理責任者研修	1月26日 1月27日	常勤1名	横須賀	サービス管理責任者の役割 個別支援計画作成
重症心身障害児者及び医療ケア支援ネットワーク情報交換会	1月28日	常勤1名	ソーレ平塚	地域生活、成人期以降の暮らしの場について

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
花見見学	4月8日 4月9日	職員11名 利用者22名	渋田川桜見学
花見見学	4月16日 4月17日	職員13名 利用者20名	秦野戸川公園チューリップ畑見学
新規利用希望者見学	5月12日	常勤1名 見学者2名	南原見学
平塚消防署消防点検	5月14日	嘱託1名	中原点検
新規利用者契約業務	5月27日	常勤1名	契約、運営規程、重要事項等説明
湘南養護学校現場実習	6月8日 ～ 6月12日	生徒1名 教員1名	南原現場体験
平塚養護学校現場実習	6月15日 ～ 6月19日	生徒1名 教員1名	南原現場体験
市役所展示即売会	6月25日 6月26日	支援員1名	自主製品展示即売
湘南養護学校保護者見学会	7月6日	保護者4名	生活介護概要説明、ゴルフボール洗い場見学
平塚養護学校夏祭り	7月21日	嘱託1名	自主製品販売
湘南養護学校夏祭り	7月22日	部長1名	自主製品販売

行事名	開催日	出席者	内容
湘南養護学校保護者見学会	7月27日	保護者3名	生活介護概要説明、ゴルフボール洗い場見学
平塚盲学校保護者生徒見学	7月30日	家族3名	南原活動見学
平塚養護学校アフターフォロー見学	8月5日	教員1名	平塚養護学校新卒者見学
平塚養護学校高等部3年御家族見学	8月18日	保護者2名 教員1名	えぽっくハウス生活介護概要説明
湘南養護学校現場実習	10月13日 ～ 10月16日	生徒1名 教員1名	現場体験
ひまわり畑見学	8月20日 8月21日	職員25名 利用者30名	ひまわり見学
伊勢原養護学校高等部見学	9月11日	教員1名 家族2名	南原施設、活動見学
高齢者施設「ウイスタリア」生活介護見学	9月18日	見学者1名	南原・中原植木鉢作製風景見学
お楽しみ「バーベキュー」	9月30日	職員22名 利用者25名	茅ヶ崎里山公園バーベキュー体験
利用者面談	11月2日 ～ 11月27日	利用者32名 常勤1名	支援報告、聴き取り
防災訓練	11月11日 11月13日 11月20日	職員20名 利用者24名	地震を想定した避難訓練
市役所展示即売会	12月8日 ～ 12月11日	非常勤3名	自主製品販売、売り子
平塚養護保護者見学	12月8日	保護者1名 教員1名	生活介護概要説明
平塚養護保護者見学	12月16日	保護者3名 教員1名	生活介護概要説明
クリスマス会	12月23日	職員24名 利用者28名	ハーモニカ演奏コンサート、プレゼント交換
成人を祝う会	1月13日	職員3名 利用者5名	外食「ひなの」食べ放題 ケーキ作り
湘南養護高等部実習打ち合わせ	2月9日	常勤1名	実習内容の確認

行事名	開催日	出席者	内容
防災訓練	3月4日 3月8日 3月9日	職員16名 利用者23名	火災を想定した避難訓練、通報訓練
平塚養護学校卒業式	3月8日	常勤1名	卒業式参加
湘南養護学校卒業式	3月10日	常勤1名	卒業式参加

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと32件/事故報告81件

10、苦情件数

11月1件/3月1件

11、重点課題

1. 余暇活動の充実(行事の企画、利用者同士の交流、地域との交流の機会を提供する)
2. 職員のスキルアップと体調管理(腰痛予防、メンタルヘルス相談の活用)
3. 作業の充実(商品完成度の向上、新製品の開発、販路の拡大)

12、総括

1. 毎年恒例となっている洪田川桜花見見学・戸川公園チューリップ見学・ひまわり祭り見学を実施。新たな試みとしては、恒例行事の日帰り外出の代わりに、各拠点合同での里山公園バーベキューを実施した。各拠点の御利用者が集合しての大人数のイベントであったが大きなトラブルもなく、予想以上の食欲とバーベキューの手伝いへのご利用者の参加があり、各拠点の親睦を深める事ができた。同じ空間を共有できたことはいい刺激となった。恒例のクリスマス会では昨年引き続き公民館音楽室にてハーモニカ演奏会を行い盛り上がる事ができた。参加者が多く音楽室では手狭となる現状を考えると、今後、さらに収容人数の多い会場の選択も考えていく必要がある。
2. 毎月の常勤会議での研修を含め、全体での腰痛予防研修には多くの非常勤も参加し、腰痛に対する関心の高さを伺う事ができた。毎朝のラジオ体操の重要性を再認識し、今まで以上に真剣に取り組むようになった。また、負担のない移動方法等、頻繁に意見交換が交わされるようになっている。しかし介助者2人でご利用者を車いすからベッドへの移動時に転落させてしまう事故が発生してしまい、介護技術の向上、職員間の連携をしっかりと行い、事故やヒヤリハットの検討、対策をたてていく必要を感じている。
3. 市役所展示即売会・養護学校での夏祭り等、恒例行事での販売参加を続けながら、新たな販路拡大として、近隣高齢者施設夏祭りでの販売の誘いなどがあり、商品紹介を含め、展示販売をさせて頂いた。鉢やストラップ、くるみボタンは好評な売れ行きで、追加注文に繋がっているが在庫切れの状態の為、商品の完成度を維持しながらも在庫を確保していく事が課題となっている。作業に関しては不定期ではあるが就労事業との連携を取り、玉ねぎの皮むき、ジャガイモの袋詰め等青果作業にも取り組んでいる。
4. 今後はロジカル会議で決定した情報共有ツール「見える君」を有効活用し支援の質の向上に取り組む。

えぼハウ(平塚市御殿)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。成人の方を対象として、ご利用者の活動場所の確保と、当事者家族の就労支援およびレスパイトを保障していくことを目的とする。

3、事業内容

(1) 主な流れ(1日)

9:30～16:00 朝礼、体操、お出かけ支援、買い物練習、余暇支援、食事支援(昼食・おやつ作り)

16:00～18:00 主に余暇支援を目的としたくつろぎの場

4、事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	23	23	18	22	
件数(件)	109	114	151	136	97	130	
平均件数(件)	5	6	6.6	5.9	5.4	5.9	
平均単価(円)	5,818	5,791	6,262	5,975	5,955	5,955	
障害福祉サービス収入(千円)	634	660	946	813	578	774	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	256
件数(件)	136	131	119	124	127	138	1,512
平均件数(件)	6	6	6.0	6.2	6.0	6.0	5.9
平均単価(円)	5,979	5,997	5,906	5,976	6,192	6,106	5,993
障害福祉サービス収入(千円)	813	786	703	741	786	843	9,077

5、利用者構成

(1) 定員:10名/登録者:16名(男性9名、女性7名)/新規登録者1名/登録抹消者0名

(2) 年齢構成

年齢	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳以上	計
男性	2	0	0	3	1	3	9
女性	2	2	1	1	0	1	7
計	4	2	1	4	1	4	16

(3) 障害程度

① 障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	その他	計
男性	6	0	0	3	0	9
女性	4	0	0	3	0	7
計	10	0	0	6	0	16

② 手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	10	6	0	0	16	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	2	2	1	1	0	0	6

6、職員体制

常勤職員1名、非常勤職員17名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理責任者(常)	0	
指導員(常)	0	
指導員(非)	17	
保育士(常)	0	
保育士(非)	0	
計	18	延べ人数

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
なし			

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
なし			

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
なし				

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
なし			

9、重点課題

1. 1人の職員が最低2人以上の利用者を担当できるようにする。利用者10人であれば職員4人～5人で担当できるようスキルアップをしていく。
2. 日中の時間帯とは異なる余暇活動の充実を図る。

10、総括

1. の重点課題に対し、「日中一時支援延長」がスタートしてから丸2年経過し、1人の職員が複数の利用者を担当する体制に慣れ、職員同士の声掛けなど連携が図れるようになってきた。ただ、1人の職員が担当する利用者が増えたことにより、外出機会が減ってしまったため、がある為、その日の状況に臨機応変に対応するスキルも今後は必要である。

また、担当職員の力量により、2人の利用者対応は可能だが、3人対応は難しいケースがあるため、毎月行っている支援会議や職員研修を通して、職員のスキルアップを行っていく。

2. の重点課題に対し、職員からの提案もあり、以前に比べて余暇活動の幅は広がっている。具体的には、キャッチボールや卓球などの軽い運動、複数の利用者で楽しめる「かるた」などである。今後も、利用者同士で楽しめる様な活動を検討していきたい。

えぼっくハウス(平塚市西真土1-7-62)

1、実施事業

就労移行支援(多機能型)

2、目的

障がい者の就労支援の提供と日中活動の充実を図り、社会参加促進や生産活動の知識、能力向上に必要な訓練を行う。

3、事業内容

(1) 主な1日の流れ

9:30~15:00 朝礼、体操、青果作業、食事支援(昼食・おやつ)

4、事業実績

(1) 平塚市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数(日)	22	19	22	23	18	22	
件数(件)	216	200	240	247	192	244	
平均件数(件)	9.8	10.5	10.9	10.7	10.7	11.1	
平均単価(円)	8,111	8,021	8,005	7,978	7,533	7,565	
障害福祉サービス収入(千円)	1,752	1,604	1,921	1,971	1,446	1,846	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
開所日数(日)	23	22	20	20	21	23	255
件数(件)	251	239	219	222	231	245	2,746
平均件数(件)	10.9	10.9	11.0	11.1	11.0	10.7	10.8
平均単価(円)	7,883	7,765	7,899	7,873	7,944	7,942	7,877
障害福祉サービス収入(千円)	1,979	1,856	1,730	1,748	1,835	1,946	21,634

(2) 作業会計の状況

月	収入(円)	工賃総額(円)	平均工賃額(円)
4月	550,596	57,000	5,700
5月	515,744	72,200	6,017
6月	590,536	73,400	6,117
7月	624,749	73,400	6,117
8月	323,662	71,500	5,959
9月	425,094	75,200	6,267
10月	377,491	73,200	6,100
11月	426,198	73,700	6,142
12月	416,351	75,200	6,267
1月	399,693	73,400	6,117
2月	446,047	73,400	6,117
3月	459,542	74,300	6,192
合計	5,555,703	865,900	73,112
1人あたりの月平均工賃			6,093円

5、利用者構成

(1)定員:10名/登録者:12名(男性9名、女性3名)/新規登録者7名/登録抹消者0名

(2)年齢構成:18歳～29歳/平均年齢:20歳

(3)障害程度

①障害種別

	知的	身体	精神	知的+身体	知的+精神	その他	計
男性	9	0	0	0	0	0	9
女性	3	0	0	0	0	0	3
計	12	0	0	0	0	0	12

②手帳の内訳

	A1	A2	B1	B2	計	1級	2級	3級	計
療育手帳	4	6	1	0	11	0	0	0	0
精神障害福祉保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身障手帳	0	0	0	0	0	0	0

③男女、区分の内訳

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	1	5	0	1	7
女性	0	0	2	1	0	0	3
計	0	0	3	6	0	1	10

6、職員体制

常勤職員7名、非常勤職員3名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	1	
就労指導員(常)	1	
生活支援員(常)	2	
職業指導員(常)	2	
職業指導員(非)	2	
事務員(非)	1	
計	10	延べ人数

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
えぼっく会議	毎月1回	えぼっく職員	行事、活動、業務の話し合い
就労・青果店会議	4月3日	常勤職員5名	今後の方向性、支援検討

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
(株)湘南銀河大橋ゴルフ ゴルフボール洗い業務について	5月22日	常勤1名	業務内容等について
(株)湘南銀河大橋ゴルフ ゴルフボール洗い業務について	5月29日	常勤1名	顔合わせ
福祉事業所見学会に関する 説明会	2月3日	常勤1名	養護学校進路支援の現状 福祉事業所見学会の説明

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
障害者事業所生産 活動研修会	7月30日	常勤1名	神奈川福祉会 館4階	食品包装と食品加工品の管理 について
安全運転講習	10月9日 10月13日 10月14日	3名	三共自動車学 校	適性検査・実技講習(教習所内)
食品衛生講習会	11月11日	常勤1名	平塚市保健セ ンター	食品衛生管理について
平塚市自立支援協 議会就労支援研究 会	11月27日	常勤1名	平塚市保健セ ンター	当事者の就労体験についての 話

8、行事

行事名	開催日	出席者	内容
湘南養護学校現場実習	5月25日 ～ 6月5日	生徒1名	職場体験
湘南養護学校現場実習	6月8日 ～ 6月19日	生徒1名	職場体験
湘南養護学校現場実習	6月22日 ～ 7月3日	生徒1名	職場体験
平塚養護学校現場実習	7月6日 ～ 7月17日	生徒1名	現場活動参加
湘南養護学校保護者見学 会	7月7日	11名	キャロット工房、ゴルフボール洗い場、こ とぶき見学
就労移行支援事業家族懇 談会	7月14日	家族9名 部長1名 常勤2名 他1名	現状報告、今後の方向性
平塚養護学校夏祭り	7月21日	嘱託1名	自主製品販売

行事名	開催日	出席者	内容
湘南養護学校夏祭り	7月22日	部長1名	自主製品販売
平塚養護学校保護者見学	7月24日	2名	キャロット工房、ゴルフボール洗い場、ことぶき見学
湘南養護学校保護者見学	7月28日	7名	キャロット工房、ゴルフボール洗い場、ことぶき見学
湘南養護学校アフターフォロー見学	8月3日	教員1名	新卒者の状況確認
平塚養護学校アフターフォロー見学	8月4日	教員1名	新卒者の状況確認
キャロット工房慰労外出	8月18日	利用者12名 職員7名	小田原城見学 外食(食べ放題)
キャロット工房御家族現場見学会	8月28日	家族5名	湘南銀河大橋ゴルフ、寒川・茅ヶ崎ことぶき等見学
家族見学会	9月9日 9月30日	2日間計10名	ことぶき、ことぶき本店、ゴルフボール洗い場等見学
昼食作り	9月21日 9月22日	キャロット工房利用者	焼きそば、うどん、から揚げ等の調理
湘南養護学校現場実習	9月28日 ～ 10月9日	生徒1名	職場体験
利用者個別面談	10月5日 ～ 10月9日	利用者家族12名 常勤1名	支援報告、聴き取り
保健所立ち入り検査	10月7日	保健所職員2名	キャロット工房衛生管理状況の点検
就労継続支援B型・就労移行実地指導	10月20日	県職員3名 常勤2名	就労系事業の運営 個別支援計画の確認調査
湘南養護学校現場実習	10月12日 ～ 10月23日	生徒1名	職場体験
防災訓練	11月10日	職員6名 利用者10名	地震を想定した避難訓練

行事名	開催日	出席者	内容
利用者家族作業見学会	12月1日 ～ 12月2日	保護者9名	新規作業、ネット詰め見学
市役所展示即売会	12月8日 ～ 12月11日	職員2名	弁当・焼き菓子販売
平塚養護保護者見学	12月16日	保護者9名 教員1名	キャロット工房ゴルフ作業、ことぶき作業 見学
クリスマス会	12月23日	職員6名 利用者12 名	ハーモニカコンサート、プレゼント交換
慰労外出	1月6日	職員7名 利用者12 名	外食 鎌倉散歩
成人を祝う会	1月13日	職員3名 利用者5名	外食「ひなの」食べ放題 ケーキ作り
平塚養護学校保護者見学	1月21日	保護者3名 生徒3名	施設見学 青果袋詰め体験
平塚養護学校高等部実習 打ち合わせ	2月19日	常勤1名	実習内容確認
防災訓練	3月4日	利用者5名 職員11名	火災を想定した避難訓練、通報訓練
平塚養護学校卒業式	3月8日	常勤1名	卒業式参加
キャロット工房家族懇談会	3月8日	事業部長1 名 常勤1名	今後の動き 意見交換
湘南養護学校卒業式	3月10日	常勤1名	卒業式参加

9、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと22件/事故報告43件

10、重点課題

1. 新製品の開発(作業効率の向上、販路の拡大)
2. 職員のスキルアップと体調管理(外部研修の参加、腰痛予防、メンタルヘルス相談の活用)
3. 余暇活動の充実 (新しい行事の企画、利用者同士の交流、地域との交流の機会を提供する)

11、総括

新規御利用者を7名追加し、活気ある活動場所となっている。昨年度まで施設外就労先として、大きな役割を担っていたことぶき青果店がえぼっくハウスの一部として就労の拠点となった事で、店頭業務が今まで以上に身近となり、利用者のモチベーションが上がっている。

1. 市役所福祉ショップ「ありがとう」の弁当や焼き菓子販売については、役所職員の消費が大半を占めている為、季節によりメニューを変更する等して消費者に飽きが来ないように工夫をしている。販路については不定期の注文ながら、他事業所関係機関等からの注文が増えている。

6月より新たな作業としてゴルフ場(打ちっ放し)で使用されたボール洗いの作業をおこなっている。開始当初は流れが掴めず、利用者の戸惑いも見られたが1年経過した現在では役割分担が明確となり仕事の一つとしてスムーズにこなせる事が多くなっている。

夏ころより横浜の青果市場からの袋詰め、ネット詰め作業を受注している。段ボール50箱程度とかなりの量を受ける事で現在は、その作業が大きな割合を占めている。

2. 毎月の常勤会議での研修を含め、全体での腰痛予防研修には多くの非常勤も参加し、腰痛に対する関心の高さを伺わせた。しかし青果の運搬はかなりの重さがあり毎朝のラジオ体操の重要性を再認識し、今まで以上に真剣に取り組むようになってきている。また、かなりの重量がある野菜のケースを運ぶ為、出来る限り負担のない方法を習得し、要領を得られるようにことぶき店員との連携を深めている。

いかに効率よく利用者への的確に伝えるのか、理解して頂けるのか。ご利用者の取り巻く家族環境、生い立ち、障がいの特性等をしっかりと把握し全体像を理解したうえで個々に適した作業や作業方法を提供し、取り組む必要がある。

3. 上半期には小田原城見学、食べ放題外食。後期には鎌倉散策、外食と共に就労の慰労外出を公共交通機関のバス・電車を利用し、社会経験を積みながら余暇を充実させている。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用が行えるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業実績

(1) 計画相談支援(計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平塚市(件)	1	2	1	6	1	2	
茅ヶ崎市(件)	1	0	0	1	0	0	
二宮町(件)	0	0	0	0	1	0	
平均単価(円)	16,689	16,689	16,689	16,689	16,689	16,689	
障害福祉サービス収入(千円)	33	33	17	117	33	33	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
平塚市(件)	2	2	0	2	5	4	28
茅ヶ崎市(件)	1	1	0	2	0	3	9
二宮町(件)	0	1	0	0	0	0	2
平均単価(円)	16,689	16,689	16,689	16,689	16,689	16,689	16,689
障害福祉サービス収入(千円)	50	67	0	67	83	100	633

(2) 計画相談支援(モニタリング)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平塚市(件)	0	1	4	17	23	22	
茅ヶ崎市(件)	0	1	1	1	1	2	
平均単価(円)	13,571	13,571	13,571	13,571	13,571	13,571	
障害福祉サービス収入(千円)	0	27	68	244	326	326	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
平塚市(件)	18	21	16	21	15	21	179
茅ヶ崎市(件)	1	2	0	2	1	1	13
平均単価(円)	13,571	13,571	13,571	13,571	13,571	13,571	13,571
障害福祉サービス収入(千円)	258	312	217	312	217	299	2,606

(3) 障害児相談支援(計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平塚市(件)	8	0	1	1	0	0	
茅ヶ崎市(件)	0	1	6	7	5	3	
平均単価(円)	16,786	16,786	16,786	16,786	16,786	16,786	
障害福祉サービス収入(千円)	134	17	118	134	84	50	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
平塚市(件)	0	1	0	0	0	15	26
茅ヶ崎市(件)	4	6	1	5	1	3	42
平均単価(円)	16,786	16,786	16,786	16,786	16,786	16,786	16,786
障害福祉サービス収入(千円)	67	122	17	84	17	319	1,163

(4) 障害児相談支援(モニタリング)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平塚市(件)	0	0	6	12	5	13	
茅ヶ崎市(件)	0	0	0	5	11	15	
平均単価(円)	0	0	13,650	13,650	13,650	13,650	
障害福祉サービス収入(千円)	0	0	81	232	218	382	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
平塚市(件)	4	13	6	13	0	0	72
茅ヶ崎市(件)	10	14	19	16	17	21	128
平均単価(円)	13,650	13,650	13,650	13,650	13,650	13,650	11,375
障害福祉サービス収入(千円)	191	369	341	396	232	287	2,729

5、職員体制

常勤職員2名

職名	人数(H27)	備考
管理者(常)	1	
相談員(常)	1	
計	2	延べ人数

6、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
相談事業所打ち合わせ	毎月1回 (12月1月2月 は開催なし)	部長2名 常勤2名	進捗状況の報告、今後の方針等

(2) 外部会議

会議名	開催日	出席者	内容
平塚市相談事業所調整会議	4月2日	常勤1名	平塚市内の計画相談、支援区分認定調査の状況報告、割り振りなどについて
平塚市相談事業所調整会議	5月7日	常勤2名	平塚市内の計画相談、支援区分認定調査の状況報告、割り振りなどについて
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	5月19日	常勤2名	茅ヶ崎市、寒川町の相談支援の状況や各事業所での取り組みについての会合
二宮町福祉課と会合	5月28日	部長1名 常勤1名	二宮町の利用者の方の計画相談に関して行政担当部署と協議
平塚市サービス調整会議	6月4日	常勤2名	利用計画、認定調査の担当事業所の調整
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	6月9日	常勤2名	情報交換、グループスーパービジョン
平塚市サービス調整会議	7月2日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	7月17日	部長1名 常勤2名	事例報告、福祉相談室との意見交換など
平塚市学齢児サービス提供事業所情報交換会	7月30日	部長1名 常勤1名	各事業所の状況報告(障害児関係)、事務的手続きについて、情報交換など
平塚市サービス調整会議	8月6日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	8月18日	常勤2名	神奈川エースの事業説明、意見交換など
平塚市サービス調整会議	9月3日	常勤1名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	9月8日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
相談支援事業所・福祉相談室意見交換会	9月17日	部長1名 常勤1名	茅ヶ崎市内の福祉相談室と相談支援事業所との意見交換
平塚市サービス調整会議	10月1日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	10月13日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
平塚市サービス調整会議	11月5日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など

会議名	開催日	出席者	内容
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	11月10日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
平塚市サービス調整会議	12月3日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	12月8日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
平塚市サービス調整会議	1月7日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	1月12日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
平塚市サービス調整会議	2月4日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	2月9日	常勤2名	グループワークなどの研修、意見交換など
平塚市サービス調整会議	3月3日	常勤2名	サービス等利用計画、認定調査の担当確認など
茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会	3月8日	常勤2名	年間の研修総括・情報交換・次年度の活動

(3) 研修

研修名	開催日	出席者	場所	内容
障害支援区分認定調査員研修	4月28日	常勤3名	神奈川県総合医療会館	障害支援区分認定調査員が認定調査を行う上での研修、認定調査の方法等について、当事者からの講義など
ケアマネジメント・スキルアップ研修	6月27日	常勤2名	プロミティあつき	相談支援員とサービス管理責任者の連携について、グループワークなど
相談支援従事者初任者研修	7月30日 7月31日	常勤2名	サンピアンかわさき	障害者総合支援法の制度説明、相談支援業務に関する基礎的知識などについての講義
相談支援従事者初任者研修	8月27日 8月28日	常勤2名	神奈川公文書館	当事者からの話、相談支援業務に関する基礎的知識などについての講義、グループワークなど
相談支援従事者初任者研修	9月9日 9月10日 9月11日	常勤2名	平塚市商工会議所	相談支援に関する演習、講義
平塚市計画相談支援文科会スキルアップ研修会	10月9日	常勤2名	平塚市役所会議室	インテークやアセスメントに関する講義・グループ討議

研修名	開催日	出席者	場所	内容
電話相談員研修	11月5日	常勤2名	神奈川県精神保健福祉センター	電話相談に関する講義、ロールプレイングなど
神奈川県相談支援従事者専門コース別研修(地域移行・地域定着)	11月10日	常勤2名	プロミティ厚木	相談支援業務における地域移行・地域定着に関する講義、グループワークなど
スキルアップ研修会	2月4日	常勤1名	平塚市役所	サービス等利用計画の作成について
やまゆり研修会	2月22日	常勤1名	かながわ県民センター	知的障害者の今後の動向などについて
スキルアップ研修会	3月3日	常勤2名	平塚市役所	サービス等利用計画の作成について

7、ひやりはっと・事故報告件数

ひやりはっと0件/事故報告14件

8、重点課題

1. サービス等利用計画・障害児支援利用計画等の計画的な作成

計画作成を効率的に行えるように業務を組み立てていく。

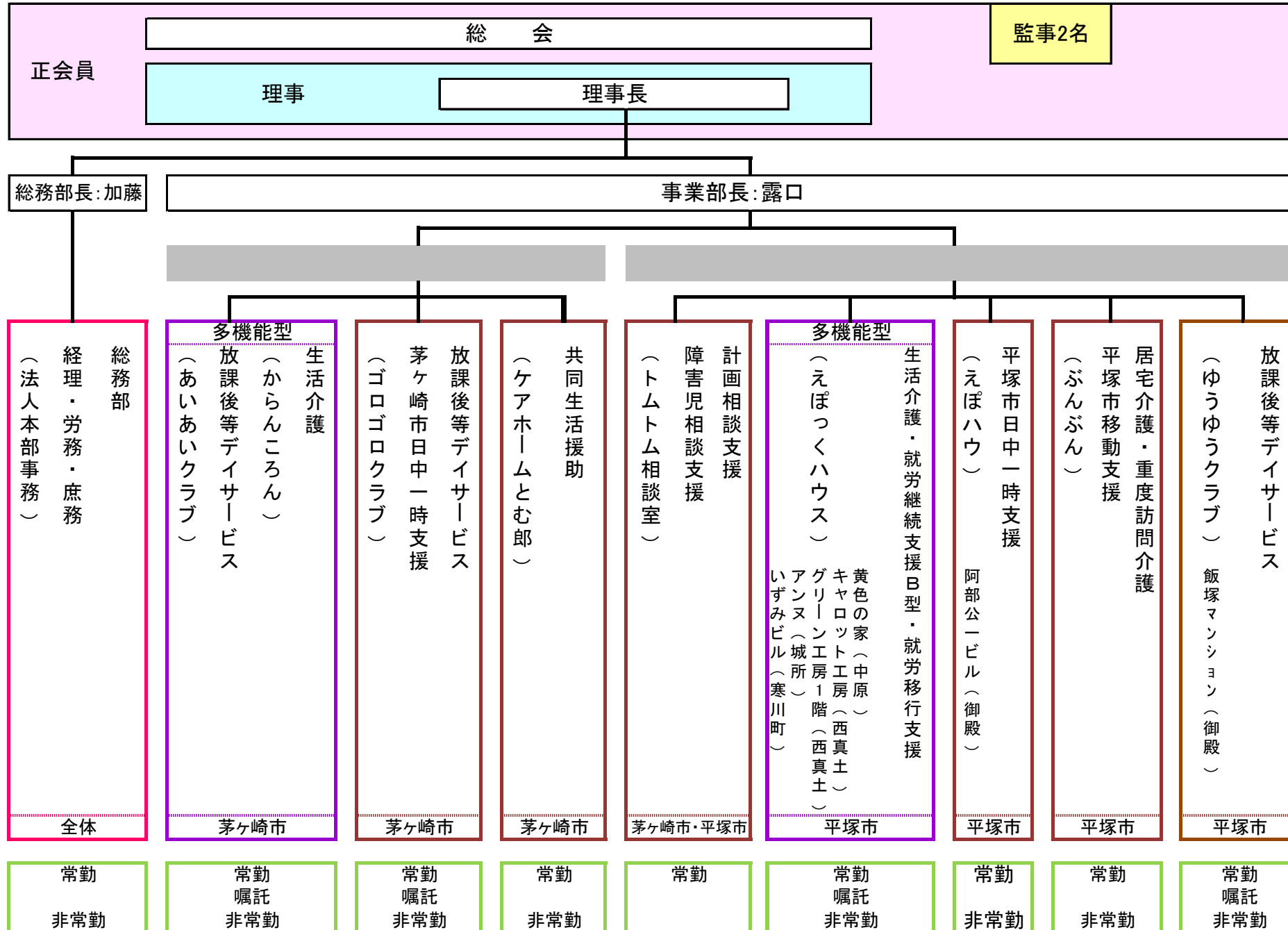
9、総括

<茅ヶ崎>年度初めは相談支援事業をうまく組み立てられず件数も伸びなかったが、四半期経つころから少しずつ件数が確保できるようになり、後半では20件を超える実績が出るようになった。茅ヶ崎市ではまだまだ相談支援に対する認識が薄く、保護者や学校職員でも理解されていない現実がある中で、相談支援の必要性を説明していくことへの課題を感じた。障害福祉課でもケースワーカー・請求担当で不備があり、請求が通らないケースも多かった。

<平塚>平塚市は児童と成人で所轄の部署が違うこともあり、手続きや計画の考え方に関しても微妙に差がある状況であった。モニタリングの期間設定なども児童と成人で違いがあり、今年度に関しては児童のモニタリングはある程度、事業所の判断で行うことができたが、次年度以降は一定の基準で設定されることになる。成人に関しては担当ケースワーカーの判断でモニタリング期間等が変わる可能性があるが基準は明確になっていない。実績に関しては法人の通所事業の利用者を中心に行っているが、他の事業所を利用している方も少数ながら担当するようになっている。利用者の内訳は児童よりも成人の利用者が多い。1ヶ月に20~30の計画もしくはモニタリングを行うようになってきている。また認定調査の事業委託も行なっている。認定調査の実績は年間で10数件で多くはないが、支給決定に関しては重要な業務となっている。事業費の設定の問題もあり、運営的には厳しい状況といえる。

相談支援を通して、成人の方たちについては、通所先には比較的安定して利用できているが、夜間や土日の支援が、今後は必要度が増加してくることが見込まれると感じている。学齢期の方たちについては、放課後支援の事業所は多くなり、以前と比べると利用しやすい状況になってきている。学齢期の方たちについても休日や夜間については、平日の日中に比較すると利用できる社会資源が少ない。

特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム 組織図



職員:	
常勤	30名
嘱託	5名
非常勤	84名
アルバイト	1名
合計	120名